

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分(一部)、令和7年度分を含む))

## 静岡県立浜名高等学校

浜松市浜名区西美蘭2939-1

電話 (053) 586-3155

FAX (053) 586-0740

# 目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	44
学校施設の概要	45
在籍生徒調	47
入学志願者及び入学者数調	48
卒業生の動向調	50
生徒の状況	51
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	54
預金調	55
郵便等受払調	55
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	56
委託料に関する調	57
負担金支出調	59
建築工事調	62
公有財産調	64
借地借家等調	65
行政財産貸付・使用許可調	66
普通財産・借受財産等貸付調	67
主要備品調	68
備品・図書調	69
職員調	74
職員の年齢調	77
健康管理	78

## 事務事業の概要

### 1 概況

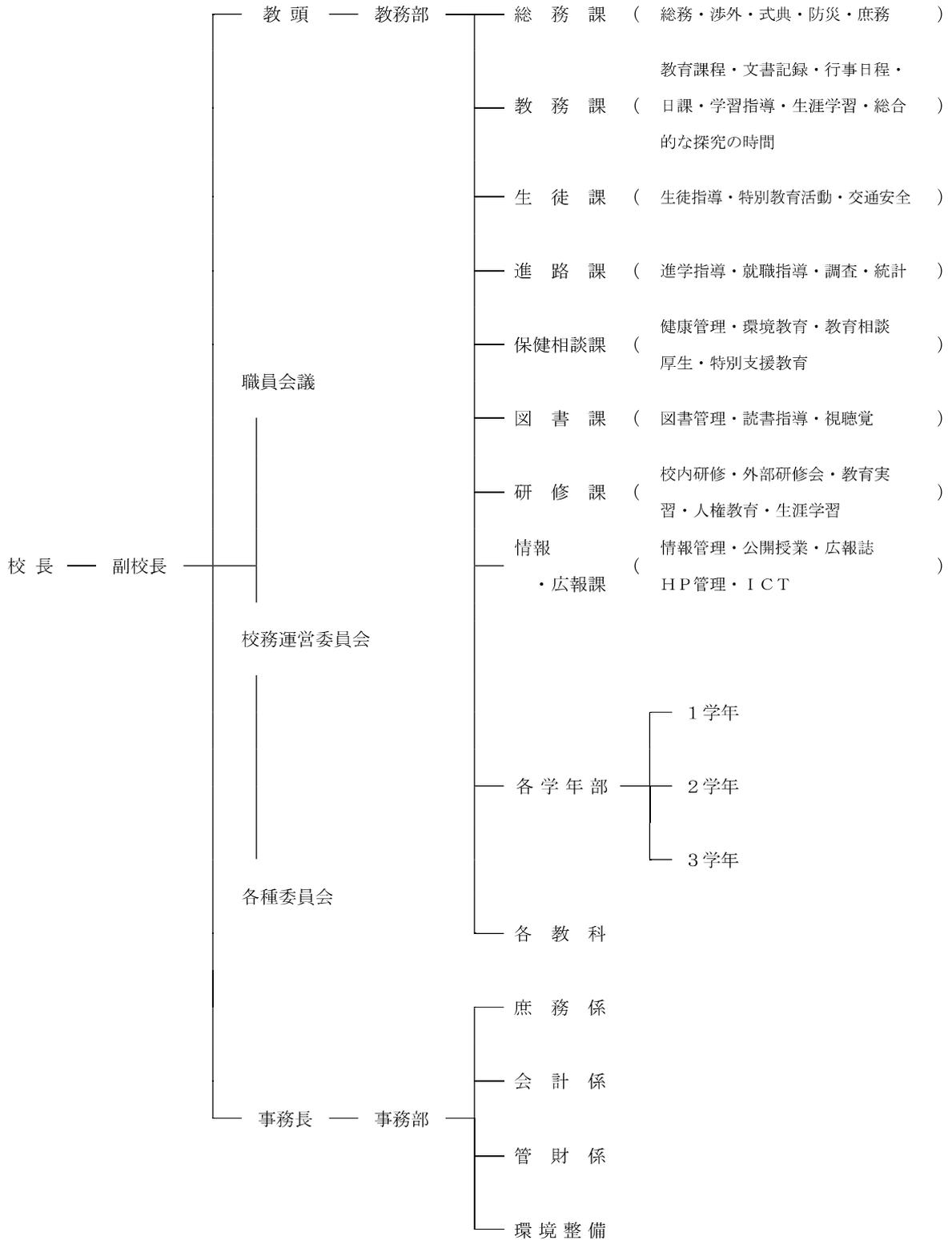
#### (1) 学校の沿革

大正	2年	4月	浜名郡北浜村貴布祢 291 番地に北浜裁縫女塾を開く。
	3年	4月	北浜裁縫女塾が北浜実科女学校として認可される。
	8年	3月	北浜実科女学校が北浜実科高等女学校として認可される。
	14年	3月	浜名郡笠井町笠井 617 番地に笠井職業女学校が認可される。(笠井教場)
	15年	3月	北浜実科高等女学校を北浜村外八ヶ町村学校組合認可により北浜高等女学校と改称
昭和	21年	4月	笠井職業女学校を笠井高等女学校と改称
	22年	7月	北浜高等女学校と笠井高等女学校が合併、県立浜名高等女学校と改称
	23年	4月	学制改革により、静岡県立浜名高等学校と改称 通常課程 普通科 200 人募集、全定員 600 人
	23年	9月	定時制課程設置 普通科 40 人募集、全定員 160 人
	24年	3月	笠井教場閉鎖
	24年	4月	定時制課程学級増により、普通科 80 人募集
	25年	4月	通常課程学級増により、普通科 250 人募集
	26年	4月	定時制夜間授業の一部を切替え、昼間授業となる。 定時制課程学級増により、普通科 120 人募集
			浜名郡中瀬村立をもって浜名高等学校中瀬分校の認可 (定時制課程普通科 40 人募集)
	31年	4月	全日制課程に家政科および商業科を設置 普通科 100 人、家政科 50 人、商業科 100 人募集
	33年	4月	定時制課程 昼間授業を夜間授業に切替え、すべて夜間授業となる。 普通科 40 人、家政科 40 人募集 中瀬分校普通科を家政科に改め、第 1 学年の募集を停止する。
	35年	4月	定時制課程学級減により、普通科 40 人募集 中瀬分校家政科募集停止
36年	3月	中瀬分校廃校	
37年	9月	全日制課程 浜名郡浜北町西美園 2939-1 番地に新校舎完成につき移転	
38年	4月	全日制課程 普通科 300 人、商業科 200 人、家政科 100 人募集	
40年	4月	全日制課程 普通科 300 人、商業科 150 人、家政科 100 人募集	

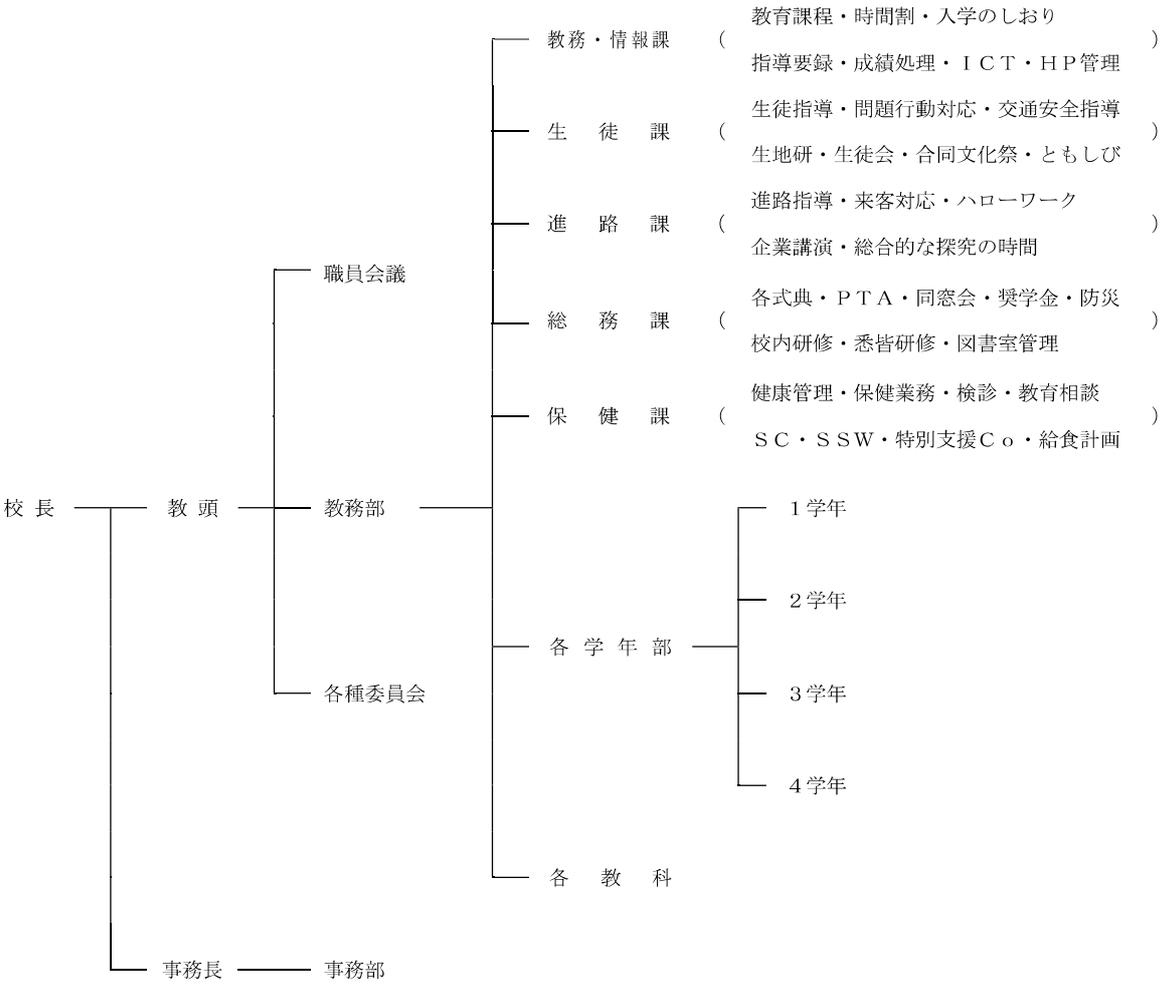
昭和	40年	8月	体育館兼講堂建築工事完成
	40年	9月	定時制課程 浜名郡浜北町西美園 2939-1 番地の校舎に移転
	41年	4月	全日制課程 普通科 250 人、商業科 150 人、家政科 100 人募集
	43年	3月	貴布祢教場閉鎖
	43年	4月	全日制課程 普通科 225 人、商業科 90 人、家政科 90 人募集
	43年	1月	第 3 棟新築工事完成
	43年	12月	格技場新築工事完成
	45年	8月	プール及び付属施設新築工事完成
	46年	4月	全日制課程 普通科 270 人、家政科 90 人募集、商業科募集停止
	48年	3月	全日制課程 商業科閉科
	49年	4月	全日制課程 普通科 315 人、家政科 90 人募集
	50年	9月	運動場拡張整備完成
	55年	2月	正門道路完成
	57年	4月	全日制課程 普通科定員 360 人、家政科募集停止
	58年	4月	全日制課程 普通科定員 405 人
	59年	3月	全日制課程 家政科閉科
	59年	9月	第 1 棟耐震工事完成
	62年	3月	体育館南棟新築工事完成
	62年	4月	全日制課程 普通科定員 450 人
平成	元年	3月	第 2 体育館新築工事完成
	4年	4月	全日制課程 普通科定員 405 人
	5年	4月	全日制課程 普通科定員 387 人
	6年	4月	全日制課程 普通科定員 378 人
	7年	4月	全日制課程 普通科定員 410 人
	8年	4月	全日制課程 普通科定員 360 人
	8年	9月	運動場に管理教室棟・普通教室棟改築完成
	8年	12月	自転車置場・駐車場等外構整備完成
	9年	3月	旧校舎解体跡地に運動場・防球ネット整備完成
	9年	4月	全日制課程 普通科定員 400 人
	10年	4月	全日制課程 普通科定員 360 人
	11年	4月	全日制課程 普通科定員 400 人
	12年	4月	全日制課程 普通科定員 360 人
	16年	2月	第 2 体育館落下物防止工事完了
	17年	4月	全日制課程 普通科定員 320 人
	18年	1月	第 1 体育館耐震補強工事完了
	21年	4月	全日制課程 普通科定員 360 人
	24年	10月	創立 100 周年記念式典挙行
令和	4年	10月	創立 110 周年記念式典挙行
	7年	4月	全日制課程 普通科定員 320 人

(2) 組織図

全日制の課程



定時制の課程



## 2 スクールミッション・スクールポリシー

### 全日制の課程

#### 【スクール・ミッション】

「高きを求めて文武両道に励む」百年を超える歴史と「明るく朗らか」な校風を有する北遠の普通科拠点校として、挑戦・探究による「未来創造プロジェクト」などの「志」「学力」「豊かな人間性」を育む生きた教育を通して、自己と社会の未来を創造する「気概」「能力」「品徳」を持ち合わせた、時代をリードし幅広く活躍する人材の育成を目指す。

#### 【スクール・ポリシー】

##### ○グラデュエーション・ポリシー

#### 「志ある人」 Hamana ICLs (Inspired and Compassionate Lifelong-Learners)

**Inspired** : 好奇心旺盛で、探究心を持つ姿勢。新しい知識を得ることにワクワクしたり、目標に対し前向きに努力する態度。

**Compassionate** : 困っている人を助けたり、他者の視点や感情を理解しようとする態度。チームワークや社会貢献において重要な要素。

**Lifelong Learners** : 学校教育を超えて、生涯にわたり学び続ける姿勢。自己成長や柔軟性、時代に適応する能力の象徴。

#### ICL 1 探究する人

好奇心を持ち、主体的・協働的に学び、生涯を通じて学ぶ喜びを追求する人

#### ICL 2 考える人

複雑な問題を批判的・創造的に分析し、倫理的な判断をする人

#### ICL 3 コミュニケーションができる人

自他の価値観や意見を尊重し、他者と協力して目標を達成する人

#### ICL 4 挑戦し、振り返りができる人

不確実な状況でも前向きに挑戦し、振り返りを未来の行動や成長に活かす人

#### ICL 5 知識のある人

幅広い分野の知識を身に付け、地域やグローバル社会の課題に取り組む人

#### ICL 6 信念をもつ人

誠実で公正な行動を心がけ、他者の尊厳と権利を尊重する人

#### ICL 7 思いやりのある人

他者の立場や感情に共感し、人間関係をより良くするために行動する人

#### ICL 8 バランスのとれた人

知性・身体・感情の調和を保ち、冷静で適切な判断をする人

##### ○カリキュラム・ポリシー

- ・生徒の多様なニーズに応じた選択肢の豊富な教育課程を編成し、確かな学力と主体性・協働性を高める授業を行います。
- ・進路に対する生徒の視野を広げ、一人ひとりの目標を尊重しながら進路実現に向けた丁寧な指導を行います。

- ・未来創造プロジェクト(総合的な探究の時間)を中心とする探究的な学びを通して、批判的思考力と社会的行動力を育成します。
- ・生徒が主体的に取り組む充実した学校行事や部活動等を通じて、心身の調和を図り、豊かな人間性を養います。
- ・学校生活全般を通して、多様性を尊重し、思いやりの気持ちを持って他者と協力する力を育む学びを推進します。

#### ○アドミッション・ポリシー

- ・基本的な生活習慣と義務教育段階の基礎学力が身に付いており、自分の能力をより高めたい生徒
- ・行事や探究活動、部活動、地域活動等に積極的に参加し、様々な体験や経験をしたい生徒
- ・自分と他者のよさを大切にし、互いに励まし合い、学校生活において健全な人間関係を築きたい生徒

## 定時制の課程

### 【スクールミッション】

学ぼうとする志を大切にす北遠の定時制普通科高校として、生徒の学習ニーズや進路希望に応じた多様な学びと自己肯定感を育む教育活動を通して、多様な個性・価値観を認め合い、自信と誇りを持って生きる、地域社会で活躍できる人財の育成を目指す。

### 【スクール・ポリシー】

○グラデュエーションポリシー ～ 本校ではこのような人を育成します～

#### 「志ある人」 Hamana ICLs (Hamana Inspired and Compassionate Lifelong-Learners )

- Inspired** : 好奇心旺盛で、探究心を持つ姿勢。新しい知識を得ることにワクワクしたり、目標に対し前向きに努力する態度。
- Compassionate** : 困っている人を助けたり、他者の視点や感情を理解しようとする態度。チームワークや社会貢献において重要な要素。
- Lifelong Learner** : 学校教育を超えて、生涯にわたり学び続ける姿勢。自己成長や柔軟性、時代に適応する能力の象徴。

#### ICL1 探究する人

好奇心を持ち、主体的・協働的に学び、生涯を通じて学ぶ喜びを追求する人

#### ICL2 考える人

複雑な問題を批判的・創造的に分析し、倫理的な判断をする人

#### ICL3 コミュニケーションができる人

自他の価値観や意見を尊重し、他者と協力して目標を達成する人

#### ICL4 挑戦し、振り返りができる人

不確実な状況でも前向きに挑戦し、振り返りを未来の行動や成長に活かす人。

#### ICL5 知識のある人

幅広い分野の知識を深め身に付け、地域やグローバル社会の課題に取り組む人

#### ICL6 信念をもつ人

誠実で公正な行動を心がけ、他者の尊厳と権利を尊重する人

#### ICL7 思いやりのある人

他者の立場や感情に共感し、人間関係をより良くするために行動する人

#### ICL8 バランスのとれた人

知性・身体・感情の調和を保ち、冷静で適切な判断をする人

○定時制カリキュラムポリシー ～本校ではこのような学びを行います～

- ・生徒が自信を持ち、意欲的に学習活動を継続できるよう、基礎・基本を重視した「わかる授業」を実施します。
- ・地域で活躍する多様な人材との関わりを通じて、生徒が社会とのつながりを深め、自分の役割を意識することができる機会を提供します。
- ・生徒が達成感や充実感を味わい、心に残る豊かな経験を重ねることができるよう、生徒

が積極的に参加する学校行事を実施します。

- ・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、生徒の困り感を把握し、外部の人材や機関と連携して寄り添いながら実効性のある支援を行います。
- ・生徒一人ひとりが社会に参画できるよう、個々の状況に応じた丁寧かつ体系的な進路指導を行います。

○定時制アドミッションポリシー ～本校ではこのような生徒を求めます～

- ・基本的な生活習慣を確立し、社会人として基礎的な学力を身に付けたい生徒
- ・学校行事や部活動、仕事を含む社会活動等に積極的に参加し、様々な体験や経験をした  
い生徒
- ・自分と他者のよさを大切にし、互いに励まし合い、学校生活において健全な人間関係を築きたい生徒

○スクール・ポリシー具現化の柱

ア 生徒の学習意欲を高め、基礎学力の定着を図るため、「わかる授業」へのさらなる改善や学習支援の充実を推進する。

イ 効果的・系統的な進路指導體制を構築し、生徒の社会参画につながる進路意識の高揚を図る。

ウ 外部機関や地域人材と連携し、生徒に寄り添った支援体制のさらなる充実により、基本的な生活習慣の確立を支援する。

エ 生徒が豊かな経験を積み、学校生活の充実を実感できるよう、質の高い学校行事や特別活動、部活動を展開する。

オ 広報活動を充実させ、本校および定時制の教育活動を地域社会に周知する。

カ 生徒と教職員が安心・安全に教育活動を展開するため、教育環境の整備に取り組むとともに業務の合理化・効率化を推進する。

### 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

#### (1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

##### 全日制の課程

※ 重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	生徒の主体的な学習態度の育成による学力の向上	各教科における単元の目標や評価基準等が明確だと答える生徒85%以上。	答えた 生徒 80.3%	B	単元の目標や評価基準等の説明を行うように職員の共通理解を図った。今後は、よりわかりやすい形で生徒に伝わるような取組をしていく。
		授業は分かりやすく、教え方に工夫があると答える生徒85%以上。	答えた 生徒 83.8%	B	多くの教員がICT活用とともに教え方の工夫を行ってきたが、わずかながら目標の達成とならなかった。 今後もさらなる授業改善のための校内取組を行っていく。
		授業で端末を十分に活用していると答える生徒90%以上。	答えた 生徒 86.3%	B	授業で端末を使うこと自体は生徒全員が行うことができているので、効果的な活用の啓発をより進めていきたい。
		到達度テストにおける各教科の正解率65%以上。	1年生 国語 64.3% 数学 72.9% 英語 71.8% 2年生 国語 60.4% 数学 47.6% 英語 51.4%	B	3教科の正答率は1年生69.7% 2年生53.2%であった。昨年度が1年生65.8%、2年生51.4%であり、成績の向上がうかがえる。今後も引き続き、主体的に学習ができるようにしていく。
		大学入学共通テストの各教科平均得点率50%以上。	自己採点 国語 55.4% 数学 46.2% 英語 52.8% 地・公 55.9% 理科 46.8%	B	共通テスト模試、冬季勉強会、食前実践演習などを適切に行った。新課程内容の入試の1年目ということで、教科の難易度にばらつきがあり、目標達成に今一步であった。 次年度は、新課程の問題研究を深めていきたい。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	生徒の主体的な進路決定意識の育成による進路実現	自らの目標に向けて、努力と挑戦を継続していると答える生徒 85%以上。	答えた 生徒 81.8%	B	多くの生徒が個々の目標達成のため積極的に努力しているので、その姿勢を後押しするとともに、さらに進めることで目標達成に向けて努力していく。
		第3学年6月までに「未来創造企画書」が完成している生徒 100%。	完成した 生徒 100%	A	進路課職員の指導の下、指導とスケジュール管理をした結果、全員が完成させることができた。
		進路に関する情報提供・指導助言は適切であると答える生徒 80%以上、保護者 70%以上。	答えた 生徒 89.3% 保護者 72.8%	A	本校職員だけでなく、外部講師等も招いて適切な時期に適切な情報が提供できるように注力した。進路課職員による SNS 校内サイトを利用した研修会や体験学習等の情報提供も昨年に引き続き行っている。
イ	探究的な学びの組織的な検討、及び具体的な実践プログラムの構築	探究活動実践プログラムの策定。	策定をすることができた。	A	探究室長を中心に策定することができたので、次年度以降、内容の改善や効果的な修正をしていく。
		課題発見力及び課題解決能力を高めることができたと答える生徒 85%以上。	答えた 生徒 83.4%	B	あと僅かで達成であった。来年度以降は、探究的な学びを学校として強化していき、達成状況の上昇に努める。
ウ	質の高い教育活動の展開による生徒の文化に親しむ豊かな心の育成	学校行事、生徒会・委員会活動及び部活動等に主体的に取り組んでいると答える生徒・保護者 90%以上。	答えた 生徒 94.9% 保護者 94.0%	A	行事や部活動を中心に、様々な活動で、生徒が主体的に取り組む姿勢が見られた。今後も主体的に取り組める環境を整え、質の高い教育活動を推進したい。
		1か月に1冊以上本を読む生徒の割合 70%以上。	読む生徒 50.8%	C	1か月に1冊以上の本を読む生徒が半数を超えたところではあるが、その後の数字が伸びてこない。選書やビブリアバトル等を通じた更なる啓発を行う。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		学校図書館の1人当たりの年間貸出冊数4.0以上。	貸出冊数 3642 冊 3.4 冊/人 昨年度 貸出冊数 3436 冊 3.2 冊/人	B	昨年度よりも貸出ペースが多くなっている。目標冊数には、まだ及ばないが、年々、目標冊数に近づいているため、今後も読書啓発に係る試みを行う。
		全国・東海大会出場6部活動以上。	12部活動	A	運動部、文化部それぞれの部活動の活躍が結果に結び付き、成果をあげた。
		校外を対象に活動・発表の場を設けている部活動 100%。	設けた 部活動 100%	A	全ての運動部が大会に参加し、全ての文化部が浜名祭一般公開を通して発表の場を設けた。文化部半数以上はコンクール、発表会等にも参加し、書道部、絵劇部、ダンス部、写真部は地域行事にも参加した。多くの部活動が学校HPで活動状況を発信し、HP更新数に貢献した。
エ	社会情勢に適合した生徒指導と安全・安心な教育環境整備を通じた生徒の自己肯定感、自律心及び社会性の育成	挨拶を心掛けたり、身だしなみに心を配ったりするなど社会のマナーを意識して学校生活を送っていると答える生徒及び保護者 95%以上。	答えた 生徒 97.0% 保護者 92.8%	A	挨拶、身だしなみなどの社会マナーを意識して学校生活を行っている生徒が多い。また、県高P連等から善行賞として3件4人が表彰を受けた。 今後も当事者意識を持ち、マナーやモラルの意識の向上をさせていきたい。
		受診が必要な生徒の治療率 85%以上。	治療率 68.0%	B	昨年度よりも治療率の上昇がみられる。特に、昨年度まで、受診率が著しく低かった視力や耳鼻科の受診率の向上が見られている。 学校保健委員会では生徒発表の場を設定し、生徒の社会性育成を図った。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所があると答える生徒 80%以上。	答えた 生徒 82.6%	A	保健室で自身の悩みを吐露することが多く、養護教諭および相談室担当が傾聴に当たり、そこから教育相談担当が必要に応じてスクールカウンセリングに繋げることができた。今後も、連携した対応を継続したい。
		学校内外の整備・美化は行き届いていると答える生徒・保護者 85%以上。	答えた 生徒 72.9% 保護者 92.8%	B	トイレ、流し場の清掃は保健委員が定期的に点検し美化に努めた。廊下、階段等の綿ほこりは取り切ることができなかった。学校全体の美化に対する啓蒙に努める。
		地震や暴風警報発令時等の登校基準や行動を把握していると答える生徒・保護者 80%以上。	答えた 生徒 73.6% 保護者 73.2%	B	天候不良時の登校基準や行動等を、絆ネットを利用して周知した。今年度は南海トラフ臨時情報の発出があり、より明確な基準等が求められたこともあった。生徒の防災意識向上に向けて更なる工夫をしていきたい。
オ	広報の充実及び地域等での取り組みを通じた教育活動の周知	生徒目線を取り入れた「学校紹介動画」の作成。	生徒たち自身が本校の特徴を捉えた学校紹介動画作成した。	A	動画を生徒に作成させたことで、本校の楽しさが伝わる動画作成された。動画は、体験入学や中学校訪問時の学校紹介で使用し、校内のデジタルサイネージで来校者向けに流した。
		ホームページの毎日更新。	更新数 275 件 0.75 件/日 昨年度 更新数 364 件 1.00 件/日	B	今年度は、HPのフォーマット移行があり、新HPの立ち上げ、職員の更新方法の技術習熟に時間がかかり、更新件数が減少した。職員のHP更新技術の習熟を進め、新HP内のコンテンツの充実させていく。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		体験入学や広報誌等が高校選びの参考になったと答える来校者95%以上。	一日体験入学 答えた 来校者 99.2% 公開授業 答えた 来校者 83.0%	A	体験活動や公開授業に参加した保護者、中学生に対し、本校の教育活動や日頃の生徒の様子を伝えることができ、理解を得ることができた。
		校外を対象に活動・発表の場を設けている部活動 100%。(再掲)	設けた 部活動 100%	A	全ての運動部が大会に参加し、全ての文化部が浜名祭一般公開を通して発表の場を設けた。文化部半数以上はコンクール、発表会等にも参加し、複数の部活が地域行事やイベントへの参加もした。多くの部活動が学校HPで活動状況を発信し、HP更新数に貢献した。
カ	教職員の組織力向上と教育活動の合理化・効率化による活力ある運営体制の確立	令和7年度から実施する教育課程改訂案の策定。	効果的な変更を行うことができた。	A	総合的な探究の時間を3学年通して計画的に実施できるようなカリキュラムに変更をした。
		各分掌(事務部含む)及び各学年による業務改善・縮減1件以上。	9分掌中9分掌が1件以上。  3学年中全学年が1件以上。	A	全ての分掌、学年が業務改善・縮減に係る取組を行うことができた。今後も、実効性がある取組を続けていく。
		校務運営に具体的に参画したと答える事務職員100%。	答えた 100%	A	各種インフラの使用料金等が高騰する中、事務職員の視点から教育活動に大きな影響を与えない中での経費節減、業務改革を促進した。今後も厳しい予算状況が続くため、校務運営に積極的に参加をする中で、教職員の業務効率化、費用削減を促していく。

定時制の課程

※ 重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	授業改善や学習支援の取り組みを通じた生徒の基礎学力の定着	・授業の内容・説明がわかりやすいと答える生徒 90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 95%	A	教員が ICT を活用し、わかりやすい授業を行っていることはもちろんだが、生徒自ら iPad を駆使し理解を深めている場面が数多く見られ、学習への意欲が高いことがこの回答に繋がっていると思われる。引き続き ICT の効果的な活用方法を研究し続ける必要がある。
		・授業を通して新しい知識が身に付いたと答える生徒 90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 99 %	A	全教員が ICT を授業で効果的に活用できるよう教材研究を行ったり、生徒の理解度に合わせて授業内容を調整したりするなどの努力がこの回答につながっていると思われる。現状に満足せず、生徒が新しい知識を効果的に定着させる方法を模索する必要がある。
		・授業に積極的に取り組んでいると答える生徒 90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 91%	A	昨年度に比べ、10%弱増加した。解決したい課題をわかりやすく明示したり、できるだけ生徒にとって身近な題材を使うよう心掛けたりと教員の工夫がこの回答に繋がっていると考えられる。授業を欠席する生徒が一定数おり、そのような生徒たちの興味関心を引くような授業を研究し続けていく必要がある。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	効果的・系統的な進路指導体制の構築による生徒の社会参画につながる進路意識の高揚	・卒業時に進路が決定している生徒95%以上。	84.2% (16人/19人)	B	卒業予定者19名中進学3名、就職内定11名、進学準備2名、就職試験受験予定者2名、進路未決定者1名の状況である。外国にルーツを持つ生徒が友人や家族から紹介された仕事に就こうとする傾向があり、見学はしても受験までは至らないケースが多かった。
		・卒業年次の夏までに体験入学や職場見学に参加した生徒90%以上。	生徒 94.7% (18人/19人)	A	正社員として働いている生徒、派遣先に正社員雇用される予定の生徒を除く17名が夏までに見学を終えた。 浜松商工会議所とのマッチング事業の実施により4年生になるまでに企業を見学する生徒も増えてきている。
		・検定合格者数及び資格取得者数延べ50人以上。	・日本語ワープロ 21人 ・情報処理 5人 ・日商簿記 1人 ・文書デザイン 3人 ・日本語能力 20人	A	商業の授業で積極的に各種検定の受験を進めてくれていることもあり、一定数の合格者を出すことができた。 日本語能力試験は、外国人生徒支援員の積極的な働きかけにより30名程度の生徒が受験し、20名の生徒が合格することができた。
ウ	丁寧な指導と支援体制の充実による生徒の基本的な生活習慣の確立	・校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所があると答える生徒90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 82.7%	B	毎日の職員打合せで生徒情報を共有することにより、生徒理解につなげ、全職員で個別に生徒支援を行うことができた。同時に、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとも

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					連携をとりながら、生徒の変化を見逃さないようワンチームで対応できた。引き続き、生徒の様子を見逃さないよう情報共有を密に行い、対応していきたい。
		・生徒の交通事故及び問題行動が年内10件以内。	・交通事故 2件 ・問題行動 9件	B	交通安全については、掲示板を使って生徒に情報を提供したり、集会時に注意を促したりした。問題行動については、自分の感情や行動をコントロールできないことから問題行動に繋がった事例が多かったため、全体指導の中で自分のとる行動に責任を持つことなども呼びかけをしていく必要がある。
		・生徒の出席率90%以上、遅刻率10%以下、早退率1%以下。	出席率 91.6% 遅刻率 8.1% 早退率 0.6%	A	様々な理由で長期欠席になっている生徒が出席率を下げている部分があるが、引き続き授業を大切に、学校を簡単に休まないように働きかけていく必要がある。
エ	生徒の新たな体験や学校生活の充実につながる質の高い学校行事や特別活動等の展開	・学校行事が充実していると答える生徒・保護者90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 93%、保護者 94.6%。	A	入念な計画・準備等をした上で各行事を行えた。次年度以降、行事がマンネリ化しないよう改善を加えながら進めていく必要がある。
		・外部講師等による研修会等の開催10回以上。	進路講話、租税教室、いじめ防止教室、食育講座、消費者教育講座、性教育講座、	A	様々な事業を活用し、外部の専門家の方にお話をさせていただくことにより、生徒自身の将来や進路につい

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
			薬学講座、技能マイスター講座、グッドマナー教室、主権者教育講座、同窓会講話、人権講座、フィリピンの高校生との交流、福祉講座、やさしい日本語講座、金融教室、健康教育講座 17回実施		て考える機会を数多く設定することができた。性教育講座では事前の打合せを養護教諭と綿密に行い、生徒に合った内容を講師に依頼することができた。次年度以降も積極的に様々な事業を活用していく。
		・自分には良いところがあると答える生徒 85%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 85%。	A	定時制職員全員が生徒と積極的にコミュニケーションをとり、生徒の自己肯定感が高まるような声掛けを行っているのがこの回答の結果に繋がっていると思われる。引き続き生徒が自己肯定感・自己有用感を高められるような声掛けを行っていく必要がある。
		・部活動の大会や発表会等の対外行事に参加する生徒延べ 30人以上。	男子バスケットボール部 14名 女子バレーボール部 11名 陸上競技部 2名 バドミントン部 10名 コバクス甲子園静岡大会 4名 生徒生活体験発表全国大会 1名 (合計 42名)	A	多くの生徒が部活動に参加している。今年度から部活動顧問教員を4名に増やしたこともあり、多くの大会に参加することができた。また、各種発表会にも生徒が参加できるよう教員がサポートすることができた。
オ	広報の充実等による本校及び定時制の教育活動の周知。	・「学校案内」の刷新。	全日制・定時制合わせた学校案内の更新	A	昨年度、全日制・定時制を合わせた学校案内を作成したが、今年度は定時制部分について、バレーボール部とバドミントン部、日本語

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					教室の紹介を追加し、進路の内容も更新した。
		・ホームページの週2回以上の更新。	学期中は、ほぼ毎週2回ホームページを更新できた。	A	毎週担当者を決め、生徒の授業の様子や部活動の結果報告などを更新することができ、浜名高校定時制の様子を効果的に伝えることができた。さらに定時制の様子を効果的に外部に伝えるためには、その週に行事を実際に企画・運営した教員がHPを更新したり、SNSの活用も必要である。
		・「学校説明会等で浜名高校のことが分かったと答える来校者」95%以上。	「あてはまる」と回答した来校者 100%。	A	今年度は、学校説明会に90人(生徒49人、保護者41人)が参加した。昨年度同様浜名高校定時制への高い関心を持つ生徒が多いことがわかった。学校説明会をさらにわかりやすくするために、定時制の生徒に学校説明の一部を担当させることも検討中である。
		・学校の教育活動の様子がわかると答える保護者90%以上。	「あてはまる」と回答した保護者 90.2%。	A	学期中には毎週、担当者を決め、ホームページの更新ができたことや絆ネットを使い、「ともしび通信」(定時制新聞)を定期的に配信できたこともこの結果につながっていると思われる。課題は、いかに効果的に学校の様子を伝えることができるかであり、動画も使えるとより良いと考える。
カ	生徒・教職員が安全・安心に教育活動を	・学校内外の整備・美化は行き届いていると答える生	「あてはまる」と回答した生徒 91%、 保護者 95.7%。	A	今年度から各学期末に生徒が各自の靴箱やロッカーの清掃を行う時間を設定す

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	展開するための教育環境の整備	徒・保護者 90%以上。			るとともに、厚生委員によるトイレ清掃(大掃除)を実施し始めた。このことにより、生徒たちはさらに校舎をきれいに使おうとする意識が出てきたと考えられる。
		・いじめに遭ったり見たりしたことがあると答える生徒0%。	「あてはまる」と回答した生徒 2%。	B	0%とはならなかったが、あてはまると答えた生徒には様々な教員が話を聴きながら、状況が改善するよう対応し続けている。
		・浜名高校に入学して良かったと答える生徒、及び入学させて良かったと答える保護者90%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 95%、保護者 96.8%。	A	日頃から職員全体で生徒情報を共有し、ワンチームで生徒に対応している点や日本語教室を通して日本語が理解できる生徒が増えている点もこの結果に繋がっていると思われる。否定的な理由を推測しながら改善を図っていく必要がある。
		・地震や暴風警報発令時等の登校基準や行動を把握していると答える生徒80%以上。	「あてはまる」と回答した生徒 87%。	A	年2回の防災訓練(地震・火災)を通して、災害時に生徒自身がどのように行動すべきか考えるよう声掛けを行った。 暴風警報発令時の登校基準については、必要に応じてSHRなどで担任が説明を行った。
		・各分掌(事務部含む)及び各学年による業務改善・縮減1件以上。	全分掌が1件以上 全学年が1件以上	A	例えば行事等で、教員が全て企画・運営するのではなく、生徒に任せる部分は任せるなど、教員の業務量を減らしながらも生徒が主体的に行動する力を身に付けることができるよう業務

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					<p>改善に取り組むことができた。</p> <p>次年度以降も各分掌・各学年で業務改善を続けていく必要がある。</p>

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

全日制の課程

※ 重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科において、学習指導要領に基づく指導計画を適切に編成し、単元目標を明確化する。</li> <li>観点別学習状況の評価方法および基準を適切に設定し、指導と評価の一体化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「各教科における単元の目標や評価基準が明確である」と答える生徒 85%以上。</li> <li>「授業が分かりやすく、教え方に工夫がある」と答える生徒 85%以上。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的・対話的で深い学び」を踏まえ、個人端末の活用や協働学習を推進し、思考力・判断力・表現力を育む授業を展開する。</li> <li>教員相互による教科横断的な授業見学や意見・情報交換を通じて、授業改善に積極的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業で、生徒による主体的な活動を促す工夫をしている」教員 70%以上</li> <li>「他教員の授業を見学したり、情報交換等を通じて授業改善を行った」教員 80%以上</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>測定ツール（到達度テスト、定期考査、模擬試験等）を活用し、生徒の学習状況を適切に分析する。</li> <li>授業内容に関連した課題を設定し、家庭学習習慣を定着させる。</li> <li>生徒の学習上の課題を明確にし、授業や補習・課外学習の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>到達度テストにおける各教科の正解率 65%以上。</li> <li>「学習支援システム等を活用し、適切な課題の配信や学習習慣確立への助言を行った。」教員 70%以上</li> <li>大学入学共通テストの各教科平均得点率 50%以上。</li> </ul>
	キャリア教育の充実による進路意識の醸成と進路実現の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「未来創造プロジェクト（総合的な探究の時間）」や「特別活動」の充実を図り、体系的なキャリア教育を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「未来創造プロジェクトや特別活動は自己の在り方や生き方を主体的に考え、将来の展望を深める機会となる。」と答える生徒 70%以上</li> <li>第3学年6月までに、すべての生徒が「未来創造企画書」を完成する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の主体的な進路決定を支援するため、関心や希望に応じた情報提供や個別指導、助言等を行う。</li> <li>進路に対する生徒の視野を広げ、興味・関心を高めることができるよう、進路行事を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に関する情報提供や指導助言は適切である」と答える生徒 80%以上、保護者 70%以上。</li> <li>「自己の目標に向けた努力・挑戦を継続している」と答える生徒 85%以上。</li> </ul>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
イ	探究的な学びの体系化と具体的な実践プログラムの策定・運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の改訂を継続検討し、探究活動推進室を中心に探究プログラムを開発・実践・改善する。</li> <li>・生徒が課題を設定し、地域や外部機関と協働して解決に取り組む活動を推進する。</li> <li>・探究的な学びに関する教職員研修を計画的に実施し、指導方法の改善と探究活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動プログラムの実践・改善・開発を継続する。</li> <li>・「未来創造プロジェクト（総合的な探究の時間）」を通じて、課題発見力と解決能力が向上した」と答える生徒 85%以上。</li> <li>・「課題発見や課題解決を取り入れた活動を行った」と答える教員 80%</li> </ul>
ウ	質の高い教育活動の展開による、生徒の精神的成長と文化的素養の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に企画・運営する活動を通じて、リーダーシップや協働性を育成する。</li> <li>・委員会による、新聞を活用した啓発活動を継続し、生徒の情報活用能力と社会参画意識を高める。</li> <li>・浜北特別支援学校との交流や保育体験実習を通じ、共生・共育を推進する。</li> <li>・学びの場として魅力ある図書館づくりと朝読書を中心とした読書習慣の形成により読書活動の充実を図る。</li> <li>・学業と部活動の両立を意識し、計画的かつ持続可能な活動を通じて、心身の健全な成長と競技力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事、生徒会・委員会活動及び部活動等に主体的に取り組んでいると答える生徒・保護者 90%以上。</li> <li>・「個人や部活動・委員会を通じて、地域行事やボランティア、国内外研修に1回以上参加した」生徒 70%以上</li> <li>・「図書館を通じた読書活動の推進が活発に行われている」と答える生徒 80%以上</li> <li>・1か月に1冊以上本を読む生徒の割合 70%以上。</li> <li>・「学習と部活動の両立ができている」と答える生徒 80%以上</li> <li>・地域貢献活動等に参加した部活動 100%</li> </ul>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
エ	安全・安心な教育環境の整備と、社会情勢に応じた生徒指導の充実による、自己肯定感・自立心・社会性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の教育活動を通じて、学校生活・社会生活におけるルールやマナーを順守させる。</li> <li>教職員も生徒も、相手の話を傾聴し、時と場に応じた丁寧な言葉で話しながら相互の理解に努める。</li> <li>道徳教育を充実させ、規範意識・社会性・倫理観を高める指導を継続して実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「進んで気持ちの良い挨拶をしている」生徒 80%以上</li> <li>「ルールやマナーの意義について考え、主体的に行動できた」生徒 80%以上</li> <li>相互に円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢・雰囲気がある。</li> <li>「人権や情報モラルの講座・授業を通じて、人権意識が向上した。」生徒 80%以上</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断や生活指導を通じて生徒の健康を把握し、健康の保持・増進に向けた支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診が必要な生徒の治療率 85%以上。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「ほめる・励ます」を基本とした、自己肯定感を育む生徒・教職員の関係をつくる。</li> <li>生徒の困難・悩み・不安に対応するため、教育相談体制を充実させ、関係機関と連携した支援体制を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「先生方は私の良いところを認め、意欲や向上心が高まる言葉をかけてくれる」と答える生徒 90%以上</li> <li>「校内に、悩みや不安を話せる人や機会・場所がある」と答える生徒 80%以上。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃の充実と定期的な設備点検を行い、安全で快適な教育環境を維持・改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校内外の整備・美化は行き届いていると答える生徒・保護者 85%以上。</li> </ul>
オ	地域との連携強化と広報活動の充実による、地域に開かれた学校運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校案内」などの広報ツールを充実させ、学校の特色や教育活動を広く発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒目線を取り入れた「学校紹介動画」の作成。</li> <li>ホームページの毎日更新。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>一日体験入学や学校公開を充実させ、中学校訪問や学校説明会を通じて、本校の教育活動を適切に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「体験入学や広報誌等が高校選びの参考になった」と答える来校者 95%以上。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動や個人活動を通じて地域行事に参加し、生徒が地域と連携しながら学校の魅力を発信できる機会を創出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動や個人活動を通じて地域行事等に参加した生徒 70%以上（再掲）</li> </ul>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
カ	教職員の組織力向上と教育活動の合理化・効率化による、活力ある学校運営の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に 19:30 を目安とした完全下校を促す。</li> <li>・教職員は効率的な業務遂行に努め、おおむね 20:00 までに退勤する。また、週 1 回の割合での定時退勤に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がおおむね 19:30 には下校している。</li> <li>・すべての教職員がおおむね 20:00 までに退勤する。</li> <li>・「おおむね週 1 回は定時に退勤できた」教職員 80%以上</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な学年・分掌会議等により情報共有を促進するとともに、業務の進捗管理と効率化を図る。</li> <li>・各分掌および学年で業務を平準化し、「無くす・減らす・変える」の視点で見直して、負担感・多忙感を軽減する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な情報共有が図られている。</li> <li>・分掌の業務を「無くす・減らす・変える」の視点で見直す機会を年 2 回以上設ける。</li> <li>・「業務の負担感・多忙感が改善された」教職員 50%</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教委の施策に沿い、事務業務の効率化を徹底し、事務職員の校務参画を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の事務業務集中化を見据え、事務職員の校務運営参画を具体化する。</li> <li>・「校務運営に具体的に参画した」と答える事務職員 100%。</li> </ul>

定時制の課程

※ 重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	授業改善や学習支援の取り組みを通じた生徒の基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎力診断テストや定期テスト等を活用し、生徒が身に付けるべき学力を明確化し、授業改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業の内容・説明がわかりやすい」と答える生徒 90%以上。</li> </ul>	教務・情報課 生徒課 各教科
		<ul style="list-style-type: none"> <li>個人端末等も効果的に活用しながら個別最適な学びを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業を通して新しい知識が身に付いた」と答える生徒 90%以上。</li> <li>「授業を通じて社会への関心が高まった」と答える生徒 90%以上</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業等で外部人材や支援事業、メディア等の副教材を積極的に活用し、生徒の社会への関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業に意欲を持って取り組んでいる」と答える生徒 90%以上。</li> <li>「授業に工夫がある」と答える生徒 80%以上</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒と教職員が協力して良好な授業環境の維持・向上に努め、生徒の学習意欲を高める。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善や生徒理解につながる教職員研修を継続的に実施し、教育活動の質の向上を図る。</li> </ul>		
イ	効果的・系統的な進路指導体制の構築による生徒の社会参画につながる進路意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な探究の時間や特別活動の充実により、生徒の進路意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業年次の夏までに体験入学や職場見学に参加した生徒 90%以上。</li> <li>卒業時に進路が決定している生徒 90%以上。</li> </ul>	進路課 各教科 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路実現のため、外部人材の活用や関係機関との連携を積極的に図る。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会で役立つ検定や資格の受検を奨励するとともに、合格・取得に向けた課外授業等を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検定合格者及び資格取得者数延べ 50 人以上。</li> </ul>	
ウ	丁寧な指導と支援体制の充実による生徒の基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員による情報交換を日常的に実施し、生徒個々の状況把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生徒情報の共有を指導に活かすことができた」と答える教職員 100%</li> <li>「校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所がある」と答える生徒 90%以上。</li> </ul>	生徒課 保健課 各教科 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>校内外の生徒支援の取組や関係機関の活用を周知し、必要に応じて連携を図る。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動全体でルールやマナ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の交通事故及び問題</li> </ul>	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> <li>一の遵守を意識させ、指導を行い、生徒の社会生活に適応するための力を育成する。</li> <li>生徒の登校状況を把握し、生活リズムの定着を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動が年間 10 件以内。</li> <li>生徒の出席率 93%以上、遅刻率及び早退率各 7%以下。</li> </ul>	
エ	生徒の新たな体験や学校生活の充実につながる質の高い学校行事や特別活動等の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の企画・運営に生徒や教職員の意見を反映し、内容の充実を図る。</li> <li>安全・安心な学校生活や社会生活に役立つ生徒対象の研修を定期的実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校行事が充実していて楽しい」と答える生徒・保護者 90%以上。</li> <li>外部講師等による研修会等の開催 10 回以上。</li> </ul>	教務・情報課 生徒課 総務課 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒全員が校内生活体験発表会に参加し、自己肯定感を高めるとともに他者への理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分には良いところがある」と答える生徒 85%以上。</li> <li>「クラスメイトの考え理解し、受け止めることができた」と答える生徒 85%以上。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の主体的な活動を支援し、部活動や校外行事への参加を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の大会出場や発表会等の対外行事に参加する生徒延べ 30 人以上。</li> </ul>	
オ	広報の充実等による本校及び定時制の教育活動の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校案内」など広報ツールを充実させ、本校および定時制の教育活動を周知する。</li> <li>学校説明会や学校訪問等を通じて、中学生や中学校に本校および定時制の教育活動を周知する。</li> <li>PTA 定時制部会や連絡ツールの活用等を通じて、保護者に対して本校の教育活動を周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校案内」の刷新。</li> <li>ホームページの週 2 回以上の更新。</li> <li>学校説明会等で「浜名高校のことが分かった」と答える来校者 95%以上。</li> <li>「学校の教育活動の様子がわかる」と答える保護者 90%以上。</li> </ul>	管理職 教務・情報課 総務課
カ	生徒・教職員が安全・安心に教育活動を展開するための教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の整理整頓に心がけ、安全・安心な教育環境を整える。</li> <li>生徒および保護者からの相談や質問に対し、教職員が丁寧かつ適切に対応し、信頼関係を構</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校内外の整備・美化は行き届いている」と答える生徒・保護者 90%以上。</li> <li>「浜名高校に入学してよかった」と答える生徒 90%以上</li> </ul>	管理職 各分掌 各学年 事務部

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<p>築する。</p> <p>・ 緊急時の適切な対応について周知するとともに、危機管理教育の充実を図り、生徒の防災意識と対応能力を高める。</p>	<p>・ 「入学させてよかった」と答える保護者 90%以上。</p> <p>・ 地震や暴風警報発令時等の登校基準や行動を把握していると答える生徒 80%以上。</p>	

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

##### 全日制の課程

年度	取組概要	成果及び課題
令和6 年度	1 共生・共育の推進	<p>浜北特別支援学校との継続的な取組を充実させ、相互交流する機会を増やすことができた。</p> <p>(1) 交流校での保育体験実習実施 (2) 本校での作業製品展示会・受注・販売会 (3) 本校文化祭での作業製品展示会 (4) 交流校での本校美術部や書道部の作品展示</p>
	2 配慮を要する生徒への対応	<p>昨年度より本校生徒に対し、通級指導を実施した。特別支援コーディネーターの助言により、生徒や保護者等と円滑な対応ができるなど効果が見られた。通級指導に学年を超えて教員が入り、特別支援の視点に立った指導を学んでいる。</p> <p>中学校とも情報交換することで、早期に対応することができた。</p>
	3 外郭団体の活用	<p>同窓会は、昨年度と同様に1年生向けに「先輩と語る会」講師として卒業生9名の選定、派遣することで、生徒の進路選択に寄与した。</p> <p>P T Aは、学校開放や土曜課外、集中講座等のP T A進路指導事業を行い、学力向上を図った。</p> <p>防災訓練において、自衛隊とのコラボレーションを行い、生徒にとってより実践的な訓練を行うことができた。</p>
	4 防災教育の充実	<p>昨年度に引き続き、生徒への事前予告なしの防災訓練、避難途中で火災で想定していた避難経路を使うことができない避難訓練を実施し、実効性のある訓練を行う。</p> <p>自衛隊静岡地方協力本部の協力の下、自衛隊との合同防災訓練を実施し、救急搬送法、自衛隊の災害時活動の講話・展示を行うことで、新たな視点からの防災教育に意欲的に取り組むことができた。</p> <p>今後もいろいろな試みを検討しながら、実践的な防災教育に取り組んでいく。</p>

年度	取組概要	成果及び課題
	5 部活動の活性化	<p>部活動の全員加入と「部活動の時間（毎週金曜日放課後）」設定により、活動のすそ野を広げた。部活動指導員等に加え、外部指導者の積極的な活用をした。</p> <p>運動部は、陸上部、水泳部、剣道部が全国高等学校総合体育大会等の全国大会に出場した。文化部は、美術部、書道部、写真部、史学部が全国高等学校総合文化祭に出場出展した。その他、多数の部活動が東海大会や県大会に出場し、文武両道を目指す本校の活性化に寄与した。</p>
	6 豊かな人間性を醸成する教育活動	<p>コロナによって停滞していた文化的・体育的行事、特別活動等を再開すると同時に見直し、より生徒主体に実施することができた。</p> <p>加えて、生徒の主体的な取組を奨励するため、全校発表の場を設けた。</p> <p>トビタテ留学！JAPANに参加した生徒の活動報告</p> <p>また、朝読書・ビブリオバトル等の読書活動を推進し、豊かな人間性の醸成に努めた。</p>
	7 N I E 研究指定校	<p>研究指定の2年目となる。生徒会の各委員会が活動と関連する新聞記事を活用した「たより」や「掲示物」等を作成・掲示して、全校生徒への啓発を図っている。生徒は、昨年度に比べ、社会への関心を高め、自分ごととして考える習慣が芽生えている。</p>

年度	取組概要	成果及び課題
令和7年度	1 共生・共育の推進	<p>浜北特別支援学校との継続的な取組を充実させ、相互交流する機会を増やすことができた。</p> <p>(1) 交流校での保育体験実習実施  (2) 生徒会どうしの交流  (3) 本校文化祭での作業製品展示会  (4) 交流校での本校美術部（優秀作品・黒板アート）の作品展示</p>
	2 配慮を要する生徒への対応	<p>一昨年度より本校生徒に対し、通級指導を実施した。特別支援コーディネーターの助言により、生徒や保護者等と円滑な対応ができるなど効果が見られた。通級指導に学年を超えて教員が入り、特別支援の視点に立った指導を学んでいる。</p> <p>中学校とも情報交換することで、早期に対応することができた。</p>
	3 外郭団体の活用	<p>同窓会は、昨年度と同様に1年生向けに「先輩と語る会」講師として卒業生8名の選定、派遣することで、生徒の進路選択に寄与した。</p> <p>P T Aは、学校開放や土曜課外、集中講座等のP T A進路指導事業を行い、学力向上を図った。</p> <p>静岡銀行との協力で生徒にライフプランに係るマネー講座を行った。</p>
	4 防災教育の充実	<p>毎年行われている、生徒への事前予告なしの防災訓練、避難途中で火災で想定していた避難経路を使うことができない避難訓練、行方不明者が出る訓練を実施し、実効性のある訓練をバージョンアップしながら行う。</p> <p>探究活動と関連させ、生徒の防災教育研究の全校発表をすることで生徒の防災意識の醸成を図る。</p> <p>今後もいろいろな試みを検討しながら、実践的な防災教育に取り組んでいく。</p>

年度	取組概要	成果及び課題
	5 部活動の活性化	<p>部活動の全員加入と「部活動の時間（毎週金曜日放課後）」設定により、活動のすそ野を広げた。部活動指導員等に加え、外部指導者の積極的な活用をした。</p> <p>運動部は、水泳部、剣道部が全国高等学校総合体育大会等の全国大会に出場した。文化部は、写真部、史学部、将棋部が全国高等学校総合文化祭に出場出展した。その他、多数の部活動が東海大会や県大会に出場し、文武両道を目指す本校の活性化に寄与した。</p>
	6 豊かな人間性を醸成する教育活動	<p>県事業のモンゴル国校生訪問団 25 人の交流事業を受け入れ、授業参加、部活動体験を通して国際交流を行った。</p> <p>トビタテ留学！ JAPAN に参加した生徒の活動報告、防災教育の研究発表、海外インターンシップ参加者発表等、生徒の主体的な取組を奨励するため、全校発表の場を設ける。</p> <p>また、朝読書・ビブリオバトル等の読書活動を推進し、豊かな人間性の醸成に努めた。</p>

定時制の課程

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	1 就職支援の充実	<p>定時制の生徒、特に外国にルーツを持つ生徒は、給与が支給されるのであれば、正社員でなくても構わないと考える生徒が多い。そのため、総合的な探究の時間を有効に使い、会社の健康保険や福利厚生的重要性等を学習するとともに、就職マッチング事業を使い、1年間で2回、それぞれ15社程度の周辺企業に参加してもらい進路講演会を開催した。生徒たちが働くことの面白さや、正社員になることの大切さを理解できるよう取り組んだ。</p> <p>進路課だけでなく、教職員全員が就職指導できる体制を構築する必要がある。</p>
	2 部活動の活性化	<p>男子バスケットボールは春季県大会を7連覇し、全国大会に出場した。全国大会では準決勝で優勝チームに敗れはしたが、第3位という素晴らしい結果を残した。また、陸上競技部は女子走高跳と女子走幅跳で全国大会に出場し、女子走高跳では4位に入賞することができた。バレーボール部やバドミントン部も県大会に出場した。部活動の顧問も4人に増やしたことにより、積極的に大会に参加することができた。</p> <p>生徒たちは少ない練習時間を効率よく利用して日々努力し成長している。</p>
	3 生徒情報共有の機会確保	<p>外国にルーツを持つ生徒や困難を抱えた生徒が増えていることから、職員全員で生徒の様々な情報を共有するため、職員打合せ時に毎日、生徒の情報共有の時間を設けた。生徒に関する些細な情報でも出してもらい、全職員がその情報を持った状態で、生徒に対応することができた。</p> <p>特別支援コーディネーターの職員が年度途中で急逝したこともあり、スクールソーシャルワーカーを含めた生徒情報交換会が今年度は1回しか実施できなかつたので、次年度以降複数回実施できるよう調整していく。</p>

年度	取組概要	成果及び課題
	4 外部人材・外部機関の活用	<p>スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを積極的に活用するとともに、その他様々な機関とも積極的に連携し、困難を抱える生徒たちに対して支援をさらに厚くすることができた。</p> <p>また、キャリア教育においても、社会人とコミュニケーションをとる場面を多く提供した。県事業等の外部人材も活用している。</p> <p>○ 外部人材</p> <p>スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、支援員（定時制、外国人）、地域若者サポートステーション、浜松商工会議所、浜松学院大学 など</p>
令和7年度	1 就職支援の充実	<p>引き続き、授業や総合的な探究の時間において雇用形態による賃金や社会保障の違いを学ぶとともに、地域の企業関係者を招いてのマッチングや若者の就業支援に関わる方々を招いての面接練習、進路相談を実施した。昼間に働くことができる夜間定時の強みを生かして、企業見学、インターシップ（就業体験）を行った後、実際にその企業でアルバイトを行うことで就職にまで結びつけることを就職指導の基本としており、就職希望者を対象にこれを実施した。</p>
	2 日本語教室の実施	<p>日本語の指導が必要な生徒に対して、授業前の16時40分から17時30分の時間を使って日本語教室を実施している。日本語教室ではJLPT（日本語能力試験）で、1年次までにN3、卒業までにN2を取得することを目標としている。令和6年度は38名が受験し、20名が合格した（N2 7名、N3 5名、N4 6名、N5 2名）。本年度も27名の生徒が受験予定である。</p>
	3 生徒情報の共有	<p>注意や支援が必要な生徒について、毎日の職員打合せ時に情報共有をする時間を設けた。またスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの来校時には、関係教員とカウンセリング内容や支援内容について情報共有を行った。</p>

## 5 教職員について

### (1) 令和6年度異動状況

#### 全日制の課程

(単位:人)

	本務職員												任期付・臨時的・会計年度任用職員							合計				
	教育職員						行政職員						本務計	教諭(任)	教諭(臨)	主事(臨)	非常勤嘱託員	非常勤講師	非常勤養護教諭		非常勤労務職員	臨時計		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	小計	事務長	主任査	主任任	主任事	技能長	主任技能員											小計	
転出者			1	5		6							6											6
退職者				4		4							4		1		2	4				3	10	14
再任用(退職)				8		8							8											8
役職定年													0											
転入者				4		4							4											4
新任者			1	1		2							2		2		3	4				3	12	14
再任用(新任)				9		9							9											9
役職定年													0											
差引増減			0	△3		△3							△3		1		1	0			0	2	△1	

#### 定時制の課程

(単位:人)

	本務職員												任期付・臨時的・会計年度任用職員							合計				
	教育職員						行政職員						本務計	教諭(臨)	養護教諭(臨)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤養護教諭	非常勤労務職員		臨時計			
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主任査	主任任	主任事										主任技能員	小計	
転出者	/		1	1			2	/						2										2
退職者	/			1			1	/						1				6					6	7
再任用(退職)	/							/																
役職定年	/							/																
転入者	/			2			2	/						2										2
新任者	/		1				1	/						1				5					5	6
再任用(新任)	/							/																
役職定年	/							/																
差引増減	/		0	0			0	/						0				△1				△1	△1	

(2) 現員数

全日制の課程

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

	本務職員													任期付・臨時的・会計年度任用職員							合計		
	教育職員							行政職員						本務計	教諭(任)	教諭(臨)	主事(臨)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤嘱託員		非常勤労務職員	臨時計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主任	主任	主任	技能長	小計										
計	1	1	1	58	1	1	63	1	3	1	1	1	7	70		2	1	1	5	2	3	14	84

\* (再掲) 再任用教諭: 週 19 時間 25 分 4 人

定時制の課程

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

	本務職員													任期付・臨時的・会計年度任用職員							合計		
	教育職員							行政職員						本務計	教諭(臨)	養護教諭(臨)	主事(臨)	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤養護教諭		非常勤労務職員	臨時計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主任	主任	主任	技能長	小計										
計			1	7	1		9				1		1	10					6			6	16

(3) 健康管理について

教職員の身体的・精神的な健康の維持増進を図るため、次のような取組を行っている。

- ア 生活習慣病検診や人間ドック・脳ドック等の受診を勧め、健康状態の把握に努めている。また、疾病の早期発見、早期治療により健康保持に努めるよう指導している。
- イ 教職員の健康診断結果に対して、健康管理医に事後措置等を相談している。
- ウ 定期的に健康安全衛生委員会を開き、安全衛生の高揚を図っている。
- エ 管理職がストレスチェックにおける所属の傾向や健康診断結果を把握し、声掛けや組織体制の見直しに活用している。
- オ 勤務時間管理システムの入力徹底と定時退庁日の周知、月毎の退庁目標時刻掲出によって時間外在校等時間の縮減を図っている。

#### (4) 教職員の研修について

##### 全日制の課程

令和6年度

校内研修

##### (ア) 研修の目的

研修テーマ「本校の特色を生かした探究的な学びの検討と学校業務の改善」  
生徒の主体的な学びを支援するため、総合的な探究の時間の充実を図り、各教科・科目の連携を通じて、キャリア意識と学力の向上を目的とする。具体的には、総合的な探究の時間の実践校の職員、総合教育センターの指導主事を招き、職員の意識改革および伴う業務の改善を行う。

不祥事根絶及びコンプライアンスに関連した研修では、職員会議、朝の打合せを有効に活用し、即時的に情報共有することで綱紀の粛正を図る。

##### (イ) 研修内容

職員全員参加の研修会を2回企画し、5月21日（火）に第1回職員研修会を実施し、11月12日（火）に第2回職員研修会を行った。

○第1回「総合的な探究の時間の充実について」

総合教育センター指導主事 教育主査 辻 陽介 氏

○第2回「探究的な学びデザイン～キャリア教育と探究を核にした教育課程～」

立命館宇治高校教諭 キャリア教育部長 酒井 淳平氏

○コンプライアンス研修

職員会議毎にテーマを設定し、コンプライアンス通信等を活用して職員への周知を徹底した。

##### (ウ) 成果と課題

今年度の研修テーマである「本校の特色を生かした探究的な学びの検討と学校業務の改善」について、第1回職員研修会において職員によるグループワークや事前学習、フィードバックを行うことで職員の総合的な探究の時間についての意識改革を促すことができた。探究室長の若手教員を中心に、既存の総合的な探究の時間の内容の改善、伴う業務の見直しに着手し始めた。また、第2回職員研修会においては、探究的な学びについて全国的に有名な立命館宇治高校で活躍している教員を招聘することによる研修を行うことで、教員の意識改革のスピードを加速させることができたと考える。

来年度以降は、今年度の研修を足掛かりに3年を通した系統立てた総合的な探究の時間の学びに係るグランドデザインの作成を目指していくことが必要であり、そのために総合的な探究の時間について、継続した見直しと改善、職員の意識改革をさらに高いレベルで図っていく必要がある。

令和7年度

校内研修

##### (ア) 研修の目的

研修テーマ「本校の特色を生かしたさらなる探究的な学びの検討と学校業務の改善」

生徒の主体的な学びを支援するため、総合的な探究の時間の充実を図り、各教科・科目の連携を通じて、さらなるキャリア意識と学力の向上を目的とする。具体的には、NPO法人「シヅクリ」との連携による地域企業と協働した総合的な探究の時間の実施、校内発表会を近隣高校や学校運営協議会委員等にも、開放して充実を図る。

不祥事根絶及びコンプライアンスに関連した研修では、職員会議、朝の打合せを有効に活用し、即時的に情報共有することで綱紀の粛正を図る。

#### (イ) 研修内容

職員全員参加の研修会を2回企画し、4月28日（月）に第1回職員研修会を実施し、11月11日（火）に第2回職員研修会を行った。

##### ○第1回

「協働型学校づくりの推進 ～ファシリテーションの手法を通して～」

愛知みずほ大学特任教授、A-sessions 代表 上井 靖 氏

##### ○第2回「教科における探究的な学びの実現に向けて」

東京学芸大学 准教授 藤村 祐子 氏

##### ○コンプライアンス研修

職員会議毎にテーマを設定し、コンプライアンス通信等を活用して職員への周知を徹底した。

#### (ウ) 成果と課題

今年度の研修テーマである「本校の特色を生かしたさらなる探究的な学びの検討と学校業務の改善」について、第1回職員研修会において職員によるグループワークや事前学習、フィードバックを行うことで職員の意識改革を促すことができた。また、探求活動のサポートを行うNPO法人「シヅクリ」との連携により、地域企業との協働による探究活動を展開できたことにより、探究室長の若手教員を中心に、既存の総合的な探究の時間の内容や手法の改善に大きな進歩を感じられるものになった。また、第2回職員研修会においては、教科における探究的な学びに関係する研究を行っている藤村准教授の研修会を行うことにより、さらなる教員の意識改革のスピードを加速させることができると考える。

来年度以降は、今年度の研修を足掛かりに探究活動について、地域企業との連携、校外機関との連携をさらに進め、本校生徒の3年間の成長、職員の意識改革を推進する体制をつくっていく必要がある。

## 定時制の課程

令和6年度

校内研修

### (ア) 研修の目的

「特別支援教育に関する用語や制度の理解を通し個別最適な教育活動の質の向上を目指す」をテーマとし、特別支援教育に関する知識の涵養及び各種制度や実践例を共有することで、教職員共通認識のもと、質の高い個別最適な教育活動を実現させることを目標とした。

このテーマは2年間の継続とし、今年度が1年目にあたる。

### (イ) 研修内容

○定時制における特別支援教育への取り組みと年間計画について

(4月 講師 本校特別支援コーディネーター)

○各種計画の作成について

(5月 講師 本校特別支援コーディネーター)

### (ウ) 成果と課題

研修と職員打合せなどでの頻繁な生徒情報の交換により、様々な生徒の状況を全職員で把握し、対応していけるようになってきている。しかし、校内研修担当兼特別支援コーディネーターが年度途中で鬼籍に入り、今年度の校内研修を中断せざるを得なくなり、校内研修での特別支援への取り組みができなかった。次年度以降、特別支援コーディネーターを定時制の職員で新たに指名し、育てていくことが本当に大きな課題である。

令和7年度

校内研修

### (ア) 研修の目的

「特別支援教育に関する用語や制度の理解を通し個別最適な教育活動の質の向上を目指す」をテーマとし、特別支援教育に関する知識の涵養及び各種制度や実践例を共有することで、教職員共通認識のもと、質の高い個別最適な教育活動を実現させることを目標とした。

このテーマは2年間の継続とし、今年度が2年目にあたる。

### (イ) 研修内容

○支援や注意が必要な生徒への対応について情報共有を行うと共に助言をいただく。

(毎月1回、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー)

○学校ホームページCMS操作方法について

(8月 講師 ICT支援員)

○外国ルーツの生徒に対する指導で困難を感じることにについて、本校の外国人生徒支援員であり、NPO フィリピンナガイサ代表理事の松本義一さんを講師に招き、様々な角度から解説や助言をいただいた。

(8月 講師 NPO フィリピンナガイサ代表理事 松本義一)

### (ウ) 成果と課題

支援や注意が必要な生徒に関して情報共有の機会を頻繁に持ったことにより、全職員で該当の生徒の見守りが可能となった。生徒への向き合い方についても専門家の知見を知ることによって教員の選択肢も広がった。今後の課題としては、特性を持つ生徒の言動の見立てや

指導方法、進路指導について、特別支援の専門家の助言をいただく機会を設定したい。このことにより特性を持つ生徒が個性や自己の良さや可能性を見出し、社会的資質や能力を身に付けられる体制を構築していきたい。

## 6 防災対策について

学校の安全管理のため、施設設備を定期的に点検するとともに、防災訓練を実施している。一斉配信システムを活用し防災情報の提供も行っている。加えて、令和6年度に起きた南海トラフ巨大地震臨時情報等を踏まえた県の指示に従い、危機管理マニュアルを大幅に見直し改訂した。今後も修正を継続して、総合的な安全管理を充実させる。

また、生徒・職員に対し、12月の地域防災訓練参加を呼び掛けている。令和7年度も引き続き、生徒および職員に地域防災訓練参加を呼び掛けている。

全日製の防災訓練では、年2回の避難訓練に加えて、心により響く訓練にするために、生徒が主体的に取り組む企画を盛り込み、抜き打ちの避難訓練等、訓練のための訓練にならないように、本番をしっかりと想定した本校独自の題材で実施し、協働活動を通して防災意識と人間性の向上に努めている。本校の先進的な防災訓練は、県の防災研修においても事例の1つとして紹介をされているとのことである。

### 全日製の課程

令和6年度

- |        |   |
|--------|---|
| 5月9日   | 第1回 防災訓練 避難訓練及び地区会<br>避難経路・地区別人数・名簿の確認と地区長・学年リーダーの選出を実施。  |
| 10月10日 | 第2回 防災訓練（自衛隊との合同訓練） 防災学習〔1〕<br>目的：①大規模災害を想定し、自衛隊と協働して備えを行う<br>②万一災害が起きた際に、自ら考え、自助・共助できる人間力を育む<br>展開：①自衛隊による講話（部隊の概要、能登半島地震の被災地支援の様子、被災地の避難所について）<br>②救護教育演習、災害時の生活体験、自衛隊の災害時装備の見学 |
| 12月12日 | 第3回 防災訓練 防災学習〔2〕<br>目的：生徒が主体となって静岡県や近隣地域の災害や防災、防災研究に理解を深め、社会の担い手として自助・共助の精神を育む<br>展開：①前回の訓練のフィードバック<br>②浜名高校のOGの方より避難所の簡易トイレの講話<br>③生徒主体の防災に係る演習を実施                               |
| 2月14日  | 第4回 防災訓練<br>目的：授業中に東海地震が発生したことを想定し、咄嗟の状況であっても、落ち着いて冷静に判断し、避難する力を育む。避難・人員点呼体制の確認をする。<br>展開：①予告なし避難訓練<br>②避難経路の一部が使用不可になることを予告なしの避難訓練   |

令和7年度

- 5月7日 第1回 防災訓練 避難訓練及び地区会  
避難経路・地区別人数・名簿の確認と地区長・学年リーダーの選出を実施。
- 10月22日 第2回 防災訓練 防災学習〔1〕  
目的：被災地と避難所を概観し、自分がすべきことを考える  
展開：①現場レポート 「東日本大震災の被災地の当時と今～名取市閑上地区を中心に～」  
②災害時に高校生にできること”について考えるプロジェクトから（2年生有志）の報告  
③「アオハルし放題」の中間発表  
発表内容「防災と商品開発について」  
演題：「近隣地域で起こりうる災害と備え」
- 2月 第3回 防災訓練 予告なし避難訓練（予定）  
3月15日 第4回 防災訓練 予告なし避難訓練（予定）  
目的：被災所の支援などで必要なことを体験する  
展開：1年生： 自衛隊による応急処置に関する体験と講義  
2年生： 避難所運営ゲーム HUG

定時制の課程

令和6年度

- 8月30日 第1回 防災訓練（全校生徒）  
地震発生を想定した避難誘導訓練を実施した。
- 1月7日 第2回 防災訓練（全校生徒）  
火災発生を想定した避難誘導訓練を実施予定。

令和7年度

- 8月29日 第1回 防災訓練（全校生徒）  
地震発生を想定した避難誘導訓練を実施した。
- 1月6日 第2回 防災訓練（全校生徒）  
火災発生を想定した避難誘導訓練を実施予定。

## 7 学校開放について

地域住民の社会教育活動、文化活動、スポーツ活動、その他の生涯学習活動の振興のために、学校教育上支障のない範囲において、施設の開放を実施している。

### (1) 開放施設

開放施設	利用できる種目
運動場	陸上競技
テニスコート	ソフトテニス
第1体育館	バレーボール、バスケットボール等

### (2) 開放実績

令和6年度 なし（利用希望者なし）

令和7年度 なし（利用希望者なし）

余 白

## 事務執行の根拠法令調

項目	根拠法令
学校教育に関すること	教育基本法（第 1、2 条） 学校教育法（第 1～3、50～52、60 条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第 5 条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第 11 条） 理科教育振興法施行令
学校の管理・運営 に関すること	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 33 条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第 21、22 条） 学校保健安全法（第 15、27 条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 学校教育法（第 137 条） 社会教育法（第 43、45、47 条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第 3、4 条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱 静岡県公立高等学校等学び直し支援金事務処理要綱 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律（第 3 条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16、17 条） 静岡県情報公開条例 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県個人情報保護条例 いじめ防止対策推進法

## 学 校 施 設 の 概 要

### 1 面積及び所有区分

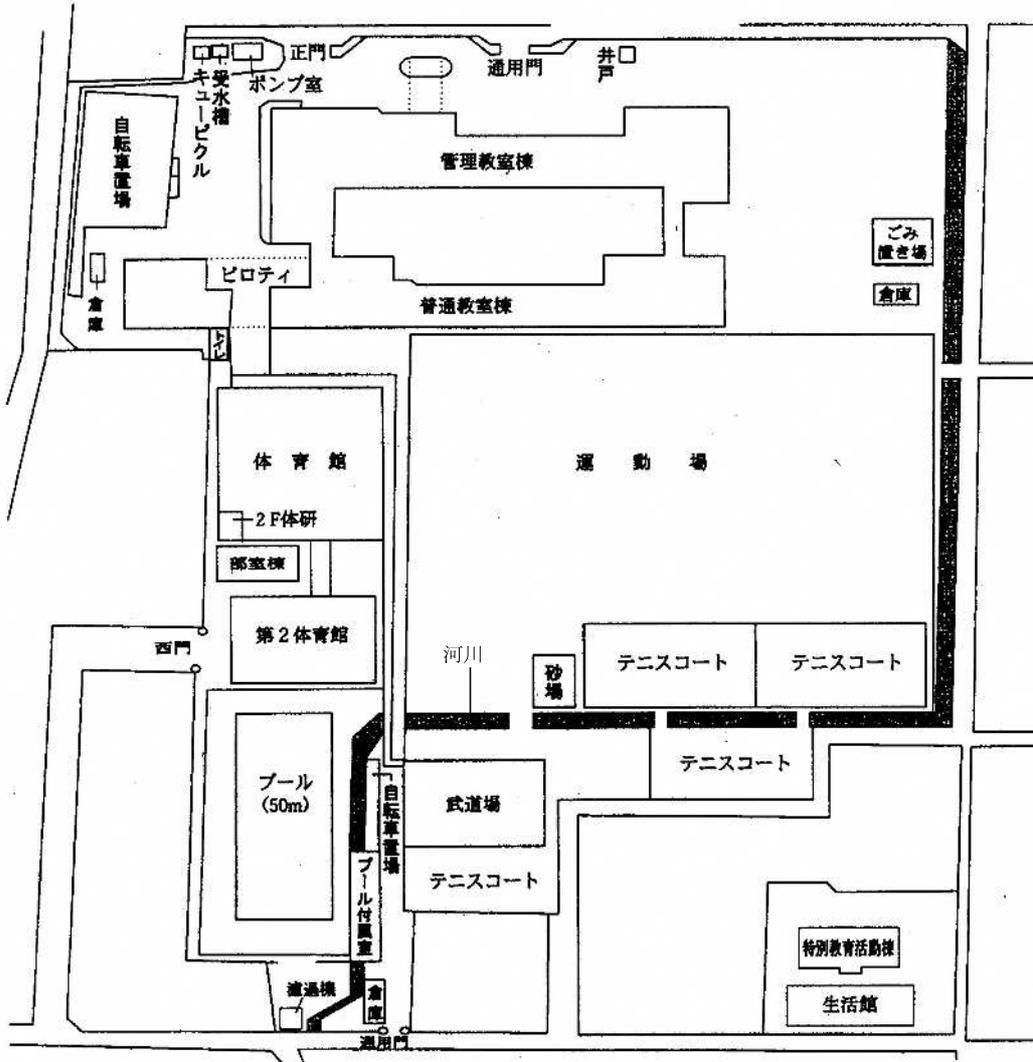
(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学校敷地	40,411.16	37,198.60		3,212.56			
内 訳	校舎敷地	21,020.08	21,020.08				
	運動場敷地	18,375.56	15,163.00	3,212.56			
	その他の敷地	1,015.52	1,015.52				
校 舎	建 4,587.73	建 4,587.73					
	延 10,430.19	延 10,430.19					
体 育 館	建 1,996.08	建 1,996.08					
	延 2,145.15	延 2,145.15					
武 道 場	建 661.50	建 661.50					
	延 661.50	延 661.50					
その他の建物	建 1,508.37	建 1,508.37					
	延 2,025.57	延 2,025.57					
生 活 館	建 225.20				建 225.20		
	延 447.50				延 447.50		
プ ー ル	個 1	個 1					50m×8コース

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図

施設配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	40,411.16 m <sup>2</sup>	10,430.19 m <sup>2</sup>	18,375.56 m <sup>2</sup>
県平均	45,604.83 m <sup>2</sup>	9,733.60 m <sup>2</sup>	22,480.60 m <sup>2</sup>

# 在籍生徒調

(令和7年9月30日現在)

学年	学科別 区分		全日制普通科				定時制普通科				(合計)			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者		320	157	175	332	40	26	11	37	360	183	186	369
		増加							1	1			1	1
		減少						1		1		1		1
現在			157	175	332		25	12	37		182	187	369	
2年	入学者		360	193	161	354	40	14	26	40	400	207	187	394
		増加		1	1	2			1	1		1	2	3
		減少		4	3	7		4	6	10		8	9	17
	2年時当初			190	159	349		10	21	31		200	180	380
		増加			(1)	(1)							(1)	(1)
減少														
現在			190	160	350		10	21	31		200	181	381	
3年	入学者		360	192	163	355	40	19	12	31	400	211	175	386
		増加						(1)	1	1(1)		(1)	1	1(1)
		減少		6	3	9		3	1	4		9	4	13
	2年時当初			186	160	346		17	12	29		203	172	375
		増加						1	(1)	1(1)		1	(1)	1(1)
		減少			4(1)	4(1)		3	4	7		3	8(1)	11(1)
	3年時当初			186	155	341		15	9	24		201	164	365
	増加						(1)		(1)		(1)		(1)	
	減少		1	3	4						1	3	4	
現在			185	152	337		16	9	25		201	161	362	
4年	入学者						40	11	20	31	40	11	20	31
		増加						(1)	1	1(1)		(1)	1	1(1)
		減少												
	2年時当初							10	19	29		10	19	29
		増加												
		減少						1	2(1)	3(1)		1	2(1)	3(1)
	3年時当初							9	16	25		9	16	25
		増加						(1)		(1)		(1)		(1)
		減少												
3修卒							1		1		1		1	
4年時当初							7	16	23		7	16	23	
	増加													
	減少													
現在							7	16	23		7	16	23	
合計				532	487	1,019		58	58	116		590	545	1,135

## 入学志願者及び入学者数調

区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
学 科 別	全日制普通科	全日制普通科	全日制普通科	全日制普通科	全日制普通科	
生徒定員 (A)	360	360	360	360	320	
募集者数 (B)	360	360	360	360	320	
志願者数	男	171 (0)	172 (0)	193 (0)	191 (2)	164 (0)
	女	225 (0)	200 (0)	164 (0)	161 (0)	184 (0)
	計 (C)	396 (0)	372 (0)	357 (0)	352 (2)	348 (0)
受検者数	男	170 (0)	170 (0)	192 (0)	191 (2)	164 (0)
	女	224 (0)	199 (0)	163 (0)	161 (0)	183 (0)
	計 (D)	394 (0)	369 (0)	355 (0)	352 (2)	347 (0)
合格者数	男	156 (0)	168 (0)	192 (0)	191 (2)	157 (0)
	女	213 (0)	198 (0)	163 (0)	161 (0)	175 (0)
	計 (E)	369 (0)	366 (0)	355 (0)	352 (2)	332 (0)
志願倍率 (C)/(B)	1.10	1.03	0.99	0.98	1.09	
受検倍率 (D)/(B)	1.09	1.03	0.99	0.98	1.08	
入学者数	男	156	168	192	193	157
	女	213	198	163	161	175
	計 (F)	369	366	355	354	332
充足率 (F)/(A)	1.03	1.02	0.99	0.98	1.04	

## 入学志願者及び入学者数調

区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
学 科 別	定時制普通科	定時制普通科	定時制普通科	定時制普通科	定時制普通科	
生徒定員 (A)	40	40	40	40	40	
募集者数 (B)	40	40	40	40	40	
志願者数	男	18 (2)	13 (2)	21 (3)	18 (0)	26 (0)
	女	10 (0)	21 (3)	12 (0)	31 (0)	11 (0)
	計 (C)	28 (2)	34 (5)	33 (3)	49 (0)	37 (0)
受検者数	男	18 (2)	13 (2)	21 (3)	18 (0)	26 (0)
	女	10 (0)	20 (3)	12 (0)	31 (0)	11 (0)
	計 (D)	28 (2)	33 (5)	33 (3)	49 (0)	37 (0)
合格者数	男	16 (2)	11 (1)	19 (3)	14 (0)	26 (0)
	女	10 (0)	20 (3)	12 (0)	26 (0)	11 (0)
	計 (E)	26 (2)	31 (4)	31 (3)	40 (0)	37 (0)
志願倍率 (C)/(B)	0.65	0.73	0.75	1.23	0.93	
受検倍率 (D)/(B)	0.65	0.70	0.75	1.23	0.93	
入学者数	男	15	11	19	14	26
	女	9	20	12	26	11
	計 (F)	24	31	31	40	37
充足率 (F)/(A)	0.60	0.78	0.78	1.00	0.93	

## 卒業生の動向調

### 1 進路状況

学 科 別		全日制普通科			定時制普通科			(計)			
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		360	357	353	23	23	19	383	380	372	
内 訳	(進学志願者)	(355)	(351)	(343)	(6)	(4)	(4)	(361)	(355)	(347)	
	進学者	大学・短大	293	307	291				293	307	291
		専修・各種学校等	52	33	35	6	4	3	58	37	38
		小 計	345	340	326	6	4	3	351	344	329
	就 職 者	5	6	10	13	18	13	18	24	23	
	自 営 者				1			1	0	0	
	進学準備者	10	11	17			1	10	11	18	
	そ の 他				3	1	2	3	1	2	
合 計		360	357	353	23	23	19	383	380	372	

### 2 求人状況(全日制のみ)

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	8	6	10
求 人 数	26	25	26
求 人 倍 率	3.25	4.17	2.60

### 3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別		全日制普通科		定時制普通科		(計)	
卒 業 生 徒 数		353		19		372	
	英語検定 2級	51				51	
	英語検定 準2級	74				74	
	数学検定 2級	3				3	
	数学検定 準2級	6				6	
	漢字検定 2級	7				7	
	漢字検定 準2級	6				6	
	情報処理(表計算) 2級			5		5	
	情報処理(表計算) 準2級			2		2	
	情報処理(表計算) 3級			3		3	
合 計		147		10		157	

## 生徒の状況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

#### (1) 出身地

(全日制) (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市町名	浜松市	磐田市	袋井市	湖西市	掛川市	その他	合計
生徒数	954	40	5	8	2	10	1,019
構成比%	93.6%	3.9%	0.5%	0.8%	0.2%	1.0%	100%

(定時制) (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市町名	浜松市	磐田市	その他	合計
生徒数	112	3	1	116
構成比%	96.5%	2.6%	0.9%	100%

#### (2) 通学方法

(全日制) (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	自転車	交通機関	徒歩	その他	合計
生徒数	801	186	18	14	1,019
構成比%	78.6%	18.2%	1.8%	1.4%	100%

(定時制) (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	交通機関	自転車	送迎	二輪	その他	合計
生徒数	51	38	12	2	13	116
構成比%	44.0%	32.8%	10.3%	1.7%	11.2%	100%

#### (3) 生徒の年齢

(定時制) (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳超	計
1年	30	5	1	1								37
2年		26	2	3								31
3年			19	4	1	1						25
4年				22		1						23
計	30	31	22	30	1	2	0	0	0	0	0	116

## (4) 生徒の就業状況

(定時制)

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分	建 設	製 造	卸小売	サービス業	各種学校	その他	無 職	計
1年	1		5	6		2	23	37
2年	1		1	2		1	26	31
3年	7		4	1	1		12	25
4年	1		5	3			14	23
計	10	0	15	12	1	3	75	116

## 2 部の加入状況

(全日制)

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部数		13	15		28
男子	1年	113	44	0	157
	2年	119	71	0	190
	3年	115	70	0	185
	計(A)	347	185	0	532
	構成比	65.2	34.8	0.0	100
女子	1年	75	100	0	175
	2年	79	81	0	160
	3年	60	92	0	152
	計(B)	214	273	0	487
	構成比	43.9	56.1	0.0	100
合計	(A+B)	561	458	0	1,019
	構成比	55.1	44.9	0.0	100

(定時制)

(令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部数		4	0		4
男子	1年	7	0	18	25
	2年	3	0	7	10
	3年	5	0	11	16
	4年	1	0	6	7
	計(A)	16	0	42	58
	構成比	27.6	0	72.4	100
女子	1年	3	0	9	12
	2年	8	0	13	21
	3年	3	0	6	9
	4年	2	0	14	16
	計(B)	16	0	42	58
	構成比	27.6	0	72.4	100
合計	(A+B)	32	0	84	116
	構成比	27.6	0	72.4	100

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区分	令和6年度		令和7年度 (令和7年9月30日現在)	
	件数		件数	
静岡県立高等学校入学検定料	全日制	定時制	全日制	定時制
		345	38	0

## 預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行 小林支店	無利息型 普通預金	0057192	静岡県立浜名高等学校 資金前渡者 山崎裕子	10,000	給与等振込口座 交際費
静岡銀行 小林支店	無利息型 普通預金	0224815	(自振口) 静岡県立浜名高等学校 資金前渡者 山崎裕子	0	電気・電話・水道・ 社会保険料振替口座
残 高 合 計				10,000	

## 郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)

(単位：枚、円)

区分	種 類	令 和 6 年 度						令 和 7 年 度						差引現在高	摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵券	10円券	86	860	0	0	31	310	55	550	0	0	9	90	46	460	文書等 発送用
	84円券	28	2,352	0	0	9	756	19	1,596	0	0	0	0	19	1,596	"
	100円券	41	4,100	0	0	18	1,800	23	2,300	0	0	2	200	21	2,100	"
計		7,312	0	2,866	4,446	0	290	4,156								

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		4,389,000	
			高等学校費	高等学校管理費		39,600	
			学校教育費	高校教育費		341,000	
				健康体育費		882,860	
計				4,616,260	5,652,460	0	
(14)工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,276,000	
計					8,239,000	1,276,000	0
(16)公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		347,600	
			学校教育費	高校教育費		4,258,320	
計					1,329,000	4,605,920	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		96,433,674	
			学校教育費	健康体育費		135,412	
計					97,491,350	96,569,086	0
(21)補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	1,679,040	0
			高等学校費	高等学校管理費	0	0
			学校教育費	健康体育費	400,000	0
計					2,079,040	0
(14)工事請負費					0	0
計					0	0
(16)公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					0	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	23,127,600	0
計					23,127,600	0
(21)補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要	
				当初額	変更増減額	計							
1	(事務関係) 夜間定時制高等学校舎等管理業務	東海ビル管理(株)	4,042,500	4,042,500	△ 60,500	3,982,000	一般	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.27 6.6.28 6.7.26 6.8.29 6.9.25 6.10.29 6.11.25 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.25 小計	335,500 434,500 418,000 308,000 5,500 412,500 473,000 423,500 308,000 357,500 390,500 115,500 3,982,000	浜名高校外3校校舎等の戸締り及び施錠等の確認業務	一括契約 浜松北高校 浜松工業 高校 新居高校	
2	給食配膳業務	(株)エムシーフードサービス	899,140	888,580	△ 5,720	882,860	随契	6.4.5 ～ 7.3.26	6.5.16 6.6.28 6.7.18 6.8.19 6.9.19 6.10.16 6.11.21 6.12.20 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.24 小計	75,000 75,000 75,000 75,000 75,000 75,000 75,000 75,000 75,000 75,000 75,000 57,860 882,860	定時制の給食配膳業務	随契1号 (少額)	
3	産業廃棄物収集・運搬委託	エス・ライナー(株)	9,900	9,900	0	9,900	随契	6.4.22 ～ 6.9.30	6.8.23	9,900	不燃ごみ等の収集・運搬業務	随契1号 (少額)	
4	産業廃棄物処分委託	エコプラント(株)	29,700	29,700	0	29,700	随契	6.4.22 ～ 6.9.30	6.9.19	29,700	不燃ごみ等の処分業務	随契1号 (少額)	
5	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	エス・ライナー(株)	341,000	341,000	0	341,000	随契	6.11.18 ～ 7.3.25	6.12.26	341,000	不燃ごみ等の収集・運搬及び処分業務	随契1号 (少額)	
6	有害物質含有調査業務	(株)静環検査センター	625,900	407,000	0	407,000	随契	6.10.7 ～ 6.11.15	6.12.26	407,000	有害物質含有調査業務	随契1号 (少額)	
	事務関係	6件								5,652,460			
	合計	6件								5,652,460			
参考1	警備業務	セコム(株)		14,256,000	0	14,256,000		6.10.1 ～ 11.9.30				浜名高校外11校警備業務	1長期継続 浜松工業 高校
参考2	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		4,755,960	△ 61,380	4,694,580		6.4.1 ～ 7.3.31				浜名高校外10校自家用電気工作物保安管理業務	浜松城北 工業高校
参考3	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		18,810,000	△ 16,500	18,793,500		6.4.1 ～ 7.3.31				浜名高校外14校消防用設備等保守点検業務	浜松湖北 高校
参考4	可燃物収集運搬処分業務	(有)大野商会		収集・運搬料 3,410円/回 処分料 14.3円/kg	0	収集・運搬料 3,410円/回 処分料 14.3円/kg		6.4.1 ～ 7.3.31				浜名高校外2校可燃物収集運搬処分業務	単備契約 浜北特別 支援学校
参考5	プール浄化装置保守点検業務	清化工業(株)		998,800	△ 17,050	981,750		6.4.8 ～ 6.12.27				浜名高校外25校プール浄化装置の保守点検業務	浜松東高校
参考6	防鼠防虫業務	(株)帝装化成浜松営業所		551,100	△ 3,080	548,020		6.4.15 ～ 7.3.31				浜名高校外6校食堂・配膳室等の防鼠防虫業務	浜松特別 支援学校
参考7	定期点検業務	(有)山口一級建築士事務所		2,200,000	0	2,200,000		6.11.22 ～ 7.3.24				浜松北地区県立学校建築基準法第12条に基づく定期点検業務	浜北西高校
	計	7件											

委託料に関する調

(令和7年度)  
(令和7年9月30日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 夜間定時制 高等学校等 管理業務	東海ビル 管理(株)	円 4,320,030	円 4,320,030	円	円 4,320,030	一般	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31 7.8.29 7.9.30 小計	円 373,120 448,910 472,230 361,460 23,320 1,679,040	浜名高校外3校 校舎等の戸締り 及び施錠等の 確認業務	一括契約 浜松北高校 浜松工業 高校 新居高校
2	給食配膳業務	(株)エム シーフード サービス	964,975	944,625		944,625	随契	7.4.4 ～ 8.3.27	7.5.30 7.6.30 7.7.31 7.8.29 7.9.30 小計	80,000 80,000 80,000 80,000 80,000 400,000	定時制の給食 配膳業務	随契1号 (少額)
	事務関係計	2 件								2,079,040		
	合計	2 件								2,079,040		
参考 1	警備業務	セコム(株)		14,256,000	0	14,256,000		6.10.1 ～ 11.9.30			浜名高校外11校 警備業務	長期継続 浜松工業 高校
参考 2	自家用電気 工作物保安 管理業務	遠鉄アシスト (株)		5,212,680		5,212,680		7.4.1 ～ 8.3.31			浜名高校外10校 自家用電気工作 物保安管理業務	浜松城北 工業高校
参考 3	消防用設備等 保守点検業務	静岡県 消防設備 保守点検業 協同組合		19,250,000		19,250,000		7.4.1 ～ 8.3.31			浜名高校外14校 消防用設備等 保守点検業務	浜松湖北 高校
参考 4	可燃物 収集運搬 処分業務	(有)大野商 会		収集・運搬料 3,630円/回 処分料 14.3円/kg	0	収集・運搬料 3,630円/回 処分料 14.3円/kg		7.4.1 ～ 8.3.31			浜名高校外2校 可燃物収集運搬 処分業務	単価契約 浜北特別 支援学校
参考 5	プール浄化 装置保守 点検業務	清化工業 (株)		995,500		995,500		7.4.10 ～ 7.12.26			浜名高校外23校 プール浄化装置 の保守点検業務	浜松東高校
参考 6	防鼠防虫業務	(株) 帝装化成 浜松営業所		668,800		668,800		7.4.15 ～ 8.3.31			浜名高校外6校 食堂・配膳室等 の防鼠防虫業務	浜松特別 支援学校
	計	6 件										

## 負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国定時制通信制高等学校校長会総会・研究協議会参加費	全国定時制通信制高等学校校長会	開催要項による	会議への参加	円 1,000	6.5.2
2	全国高等学校校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校校長協会	開催要項による	会議への参加	4,000	6.5.2
3	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会教育研究協議会参加費	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会	開催要項による	会議への参加	5,000	6.6.25
4	東海四県高等学校校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校校長連絡協議会会長	開催要項による	会議への参加	2,000	6.7.10
5	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	静岡県高等学校長協会生徒指導専門委員会委員長	開催要項による	会議への参加	2,000	6.7.29
6	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会東海支部総会・研究協議会参加費	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会東海支部長	開催要項による	会議への参加	2,000	6.7.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 786名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	23,334,300	振替日 6.7.31
8	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1期分 104名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	839,700	振替日 6.7.31
9	全国普通科高等学校校長会総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校校長会	開催要項による	会議への参加	6,000	6.8.29
10	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会総会及び研究協議会参加費	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会会長	開催要項による	会議への参加	2,000	6.9.30
11	全国英語教育研究団体連合総会・研究大会(全英連埼玉大会)参加費	全国英語教育研究団体連合会(全英連)	開催要項による	会議への参加	6,000	6.10.4
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 774名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	38,154,600	振替日 6.10.31
13	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分 93名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,233,900	振替日 6.10.31
14	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1・2期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,600	6.11.25
15	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 14名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	524,700	6.12.26
16	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1・2期分 5名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	91,800	6.12.26
17	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 781名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	30,927,600	振替日 7.1.31
18	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分 98名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,058,400	振替日 7.1.31

19	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第3期分 3名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 7.1.31
20	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第3期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	2,700	振替日 7.1.31
21	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第2期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	13,500	振替日 7.1.31
22	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 49,500	振替日 7.2.17
23	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第3期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	10,800	振替日 7.2.25
24	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第3期分 2名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,600	振替日 7.3.11
25	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第2期分 6名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	72,900	振替日 7.3.11
26	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第1期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 5,400	振替日 7.3.14
27	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第1期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	2,700	振替日 7.3.14
28	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第2期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 2,700	振替日 7.3.19
29	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 49,500	振替日 7.3.27
30	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第3期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 39,600	振替日 7.3.27
31	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第3期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 5,400	振替日 7.3.27
32	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第1期分 2名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,200	振替日 7.3.27
33	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料 (第2期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	8,100	振替日 7.3.27
34	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第1期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 7.3.27
35	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 7.3.27
計		35 件			96,321,900	

## 負 担 金 支 出 調

(令和7年度)  
(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国定時制通信制高等学校校長会総会・研究協議会参加費	全国定時制通信制高等学校校長会	開催要項による	会議への参加	円 1,000	7.4.30
2	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	会議への参加	4,000	7.4.30
3	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会会長	開催要項による	会議への参加	2,000	7.7.7
4	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1期分 110名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	891,000	振替日 7.8.4
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 748名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	22,215,600	振替日 7.8.4
6	全国普通科高等学校校長会総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校校長会	開催要項による	会議への参加	6,000	7.8.8
7	全国英語教育研究団体連合総会・研究大会(全英連和歌山大会)参加費	全英連和歌山大会実行委員会委員長	開催要項による	会議への参加	6,000	7.8.29
8	東海地区高等学校教頭・副校長連絡協議会総会及び研究協議会参加費	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会会長	開催要項による	会議への参加	2,000	7.9.10
計		8 件	/	/	23,127,600	/

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
1	教 育 管理費	令和6年度 静岡県立浜名高等学校 手すり設置他工事	浜松市浜名区 西美菌地内	円 1,276,000	円 1,276,000	円 0	円 1,276,000
		合 計	1 件	1,276,000	1,276,000	0	1,276,000

令和7年度 該当なし

# 事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘要
随契	株式会社 板屋建設	着手 6.8.26 完成 6.11.29	円 1,276,000	教室棟階段手すり設置 8ヶ所 体育館通路手すり設置 1式 体育館通路スロープ設置 1ヶ所 体育館入口縦手すり設置 1ヶ所	-	令達年月日 6.8.6 最終支払年月日 7.1.6 随契1号(少額)
			1,276,000			

# 公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年3月31日 現 在		摘 要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産	千円	2,801,506	千円	0	千円	49,559	千円	2,751,947	
土 地	m <sup>2</sup> 37,198.60	1,948,206	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 37,198.60	1,948,206	
立木竹	本 81	2,030	本		本 3	48	本 78	1,982	
建 物	m <sup>2</sup> $\frac{8,753.68}{15,262.41}$	795,273	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	41,381	m <sup>2</sup> $\frac{8,753.68}{15,262.41}$	753,892	
工作物	個 78	55,997	個		個	8,130	個 78	47,867	
普通財産	千円	17,248	千円		千円		千円	17,248	
土 地	m <sup>2</sup> 429.58	17,248	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 429.58	17,248	
公有財産に 準ずるもの	千円	97	千円		千円		千円	97	
電話加入権	件 4	97	件		件		件 4	97	

令和7年度中増減なし

## 借地借家等調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途	
				台帳	現況		単価	年額				
1	土地	グラウンド敷地	浜松市浜名区西美蘭2003-1ほか	宅地		3,212.56 m <sup>2</sup>	円	1,489,797	円	7.4.1 から 8.3.31 まで	浜松市長	グラウンド用地
2	土地	グラウンド敷地	浜松市浜名区小林1410-1地先ほか	河川敷		16,630.00 m <sup>2</sup>			0	6.4.1 から 11.3.31 まで	浜松市長	グラウンド(占有許可)
3	土地	水路敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	河川敷	橋梁設置	12.90 m <sup>2</sup>			0	29.4.1 から 9.3.31 まで	浜松市長	橋梁2ヶ所(占有許可)
4	土地	水路敷地	浜松市浜名区西美蘭2939	河川敷	橋梁設置	9.00 m <sup>2</sup>			0	6.4.1 から 11.3.31 まで	浜松市長	橋梁(占有許可)
5	土地	水路敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	河川敷	橋梁設置	19.40 m <sup>2</sup>			0	6.4.1 から 11.3.31 まで	浜松市長	橋梁(占有許可)
6	土地	水路敷地	浜松市浜名区西美蘭	河川敷	建物及び橋梁設置	154.19 m <sup>2</sup> 26.56 m <sup>2</sup>			0	3.4.1 から 8.3.31 まで	浜松市長	プール付属室及び床版橋2ヶ所(占有許可)
小計						20,064.61 m <sup>2</sup>		1,489,797				
7	建物	事務所建	浜松市浜名区西美蘭2907-1	鉄筋コンクリート造	2階建	225.20 m <sup>2</sup> 447.50 m <sup>2</sup>		無償		4.4.1 から 9.3.31 まで	浜名高校後援会長	尚友館
8	建物	雑屋建	浜松市浜名区西美蘭3015-1	軽量鉄骨造		2.70 m <sup>2</sup> 2.70 m <sup>2</sup>		無償		6.4.1 から 11.3.31 まで	浜名高校後援会長	サッカー監視室
9	建物	雑屋建	浜松市浜名区小林1410-1	軽量鉄骨造		44.80 m <sup>2</sup> 44.80 m <sup>2</sup>		無償		6.4.1 から 11.3.31 まで	浜名高校後援会長	雨天ピッチング練習場
小計						272.70 m <sup>2</sup> 495.00 m <sup>2</sup>		0				
10	工作物	冷暖房装置	浜松市浜名区西美蘭2939-1			1個		3,838,950		6.7.1 から 19.6.30 まで	NTT・TCリース株式会社静岡支店	特別教室空調
小計						1個		3,838,950				
合計					土地 建物 工作物	20,064.61 m <sup>2</sup> 272.70 m <sup>2</sup> 495.00 m <sup>2</sup> 1個		5,328,747				

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は 面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年 額			
1	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 8.00		679,000	7.4.1から 10.3.31まで	株式会社ダイドービレッジ 静岡代表取締役	自動販売機 4台
2	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 4.00		220,000	7.4.1から 10.3.31まで	東海ビレッジサービス 株式会社浜松支店長	自動販売機 2台
3	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 1.00		1,260	7.5.1から 10.3.31まで	浜名高等学校後援会長	食料用自動 販売機1台
4	建物	事務所建	浜松市浜名区西美蘭2939-1	RC	3階	m <sup>2</sup> 2.00		免除	6.4.1から 9.3.31まで	浜名高等学校後援会長	パン類販売所 2㎡
5	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 1.00		免除	7.4.1から 12.3.31まで	浜松市長	道路照明灯 1基
6	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 9.55		免除	7.4.1から 12.3.31まで	浜名高等学校後援会長	物置 1棟
7	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1、2907-1	学校用地	学校敷地	本 2	1,500	3,000	7.4.1から 12.3.31まで	中部電力パワーグリッド 株式会社浜北営業所長	電柱 1本 支線 1条
8	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 8.65		免除	7.4.1から 12.3.31まで	浜名高等学校PTA会長	卒業記念品 3基
9	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 1.60		免除	7.4.1から 12.3.31まで	浜名高等学校同窓会長	校訓碑 1基
10	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 1.00		免除	7.4.1から 12.3.31まで	浜名高等学校後援会長	記念碑 1基
11	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	本 3	1,500	4,500	3.4.1から 8.3.31まで	中部電力パワーグリッド 株式会社浜北営業所長	支線柱1本 支線 2条
12	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2907-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 314.26		免除	7.4.1から 12.3.31まで	浜名高等学校後援会長	生活館用地
13	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2907-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 1.00		免除	7.4.1から 8.3.31まで	国土地理院 中部地方測量部長	三等三角点 1式
14	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 10.00		免除	7.4.1から 10.3.31まで	浜名高等学校PTA会長	PTA職員 駐 車 場
15	建物	事務所建	浜松市浜名区西美蘭2939-1	RC	3階	m <sup>2</sup> 3.30		免除	7.4.1から 10.3.31まで	浜名高等学校PTA会長	PTA職員 執務場所
16	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 10.00		免除	5.4.1から 8.3.31まで	浜名高等学校PTA会長	PTA進路支援員 駐 車 場
17	建物	事務所建	浜松市浜名区西美蘭2939-1	RC	3階	m <sup>2</sup> 3.30		免除	5.4.1から 8.3.31まで	浜名高等学校PTA会長	PTA進路支援員 執務場所
18	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 10.00		免除	5.4.1から 8.3.31まで	浜名高等学校PTA会長	PTA図書支援員 駐 車 場
19	建物	事務所建	浜松市浜名区西美蘭2939-1	RC	3階	m <sup>2</sup> 3.30		免除	5.4.1から 8.3.31まで	浜名高等学校PTA会長	PTA図書支援員 執務場所
20	土地	学校敷地	浜松市浜名区西美蘭2939-1	学校用地	学校敷地	m <sup>2</sup> 6.38		免除	5.12.1から 10.3.31まで	浜名高等学校PTA会長	空調設備設置 (地学室・進路 資料室)
21	建物	事務所建	浜松市浜名区西美蘭2939-1	RC	3階	m <sup>2</sup> 7.19		免除	5.12.1から 10.3.31まで	浜名高等学校PTA会長	空調設備設置 (地学室・進路 資料室)
合 計								907,760			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は 面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	宅地	浜松市浜名区 新原1047-1	宅地	宅地	本 2	1,500	3,000	6 . 4 . 1 から 9 . 3 . 31 まで	中部電力パワーグリッド 株式会社浜北営業所 配電建設グループ長	電柱 1本 支線 1条
合 計								3,000			

## 主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	03-03	その他の視覚用再生用機器	SONY型視聴覚システム	週3日(年間110日) 視聴覚授業用	平 8.10	円 9,764,400
2	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	県立学校ICT環境整備機器 一式	毎日(年間180日) 情報・総合学習授業用	令 2.1	5,905,823
3	01-01	その他の机	連結机 椅子セット 135席分	週3日(年間110日) 視聴覚授業用	平 8.11	2,308,230
4	10-10	その他の地学天文学用器具	プラネタリウム投影 ドーム 電動式	年間10日 特別教育活動用	平 8.11	1,797,350
5	01-04	移動書庫	クランクモービルラック 7列 オカムラ	毎日(年間365日) 図書室用	平 8.11	1,493,500
6	01-04	たな	複式書架 連結式 15連	毎日(年間365日) 図書室用	平 8.11	1,236,000
7	01-04	たな	展示ケース 木製 30×75×240	毎日(年間365日) トロフィー等展示用	平 8.12	1,100,000
8	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ 88鍵 カイクG-3N	毎日(年間180日) 音楽授業用	平 6.2	1,081,500
9	05-06	その他の環境化学機器	ドラフトチャンバー DF-11A	週3日(年間110日) 理科授業用	平 8.8	978,500
10	01-04	移動書庫	横スライド式移動棚 オカムラ	毎日(年間365日) 事務室用	平 2.2	947,600
11	01-99	その他の庁用器具	校舎案内板 ステンレス製 H1240	毎日(年間365日) 校内案内用	平 9.1	909,490
12	01-99	その他の庁用器具	電子黒板(専用スタンド付)	週2日(年間70日) 会議、研修用	令 7.2	904,200
13	01-01	テーブル	会議テーブル 木製 W5600×D1600	毎日(年間240日) 応接室用	平 8.11	890,950
14	01-11	照明装置	調光システム装置自立型 23回路	週3日(年間110日) 視聴覚授業用	平 8.9	760,000
15	01-02	台	教師用実験台	毎日(年間180日) 化学準備室用	平 8.8	727,283
16	01-04	たな	オカムラ単式書架連結型 5連6段	毎日(年間365日) 図書館用	平 9.8	631,500
17	01-99	その他の庁用器具	校旗 H800×W1200 琥珀地	年間10日 式典用	令 元.12	626,400
18	01-13	冷蔵(凍)庫	冷蔵(凍)庫 業務用 東芝RGC-2501FG	毎日(年間365日) 家庭科授業用	平 8.11	570,620
19	10-07	鍵盤楽器	鍵盤楽器 エレクトーン	月2回(年間24日) 音楽授業用	平 13.7	535,500
20	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー等一式	毎日(年間365日) 管理用	平 29.3	529,308

## 備品・図書調

(令和 6年度)

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	60	( 0) 0	0	( 0) 0	0	60
01-02 台類	46	( 0) 0	0	( 0) 0	0	46
01-03 いす類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
01-04 収納保管庫類	127	( 0) 4	720,500	( 0) 0	0	131
01-05 印刷機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
01-10 印判類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
01-11 照明器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
01-12 寝具類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	5	( 0) 0	0	( 0) 0	0	5
01-14 冷暖房器具類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
01-17 洗濯機	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	27	( 0) 0	0	( 0) 0	0	27
02-01 情報処理機器類	516	( 0) 11	3,401,420	( 0) 0	0	527
02-02 情報伝達機器類	12	( 0) 0	0	( 0) 0	0	12
03-02 観察・観測用光学機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
03-03 視覚用再生等機器類	30	( 0) 1	484,000	( 0) 0	0	31
04-01 診療・診断用機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
04-02 衛生検査用機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1

## 備品・図書調

(令和 6年度)

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-03 看護用機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
05-01 強度(物性)試験計測機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-02 波動・熱試験計測機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	3	( 0) 0	0	( 0) 0	0	3
05-06 環境化学機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-08 度量衡測定機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
06-02 金属加工用機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
10-02 語学用器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 1	0	0
10-03 社会用器具類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
10-05 生物物理化学用器具類	3	( 0) 0	0	( 0) 0	0	3
10-06 家庭科用器具類	12	( 0) 0	0	( 0) 0	0	12
10-07 音楽用器具類	11	( 0) 0	0	( 0) 0	0	11
10-08 芸術用器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
10-10 地学天文学用器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	8	( 0) 0	0	( 0) 0	0	8

備品・図書調

(令和 6年度)

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
10-99 その他の教育用器具類	3	( 0) 0	0	( 0) 0	0	3
計	904	( 0) 16	4,605,920	( 0) 1	0	919

## 備品・図書調

(令和7年度)

区分	令和7年 3月31日 現在	増		減		令和7年 9月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	60	( 0) 0	0	( 0) 0	0	60
01-02 台類	46	( 0) 0	0	( 0) 0	0	46
01-03 いす類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
01-04 収納保管庫類	131	( 0) 0	0	( 0) 0	0	131
01-05 印刷機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
01-10 印判類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
01-11 照明器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
01-12 寝具類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	5	( 0) 0	0	( 0) 0	0	5
01-14 冷暖房器具類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
01-17 洗濯機	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	27	( 0) 0	0	( 0) 0	0	27
02-01 情報処理機器類	527	( 0) 0	0	( 0) 0	0	527
02-02 情報伝達機器類	12	( 0) 0	0	( 0) 0	0	12
03-02 観察・観測用光学機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
03-03 視覚用再生等機器類	31	( 0) 0	0	( 0) 0	0	31
04-01 診療・診断用機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
04-02 衛生検査用機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1

## 備品・図書調

(令和7年度)

区分	令和7年 3月31日 現在	増		減		令和7年 9月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-03 看護用機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
05-01 強度(物性)試験計測機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-02 波動・熱試験計測機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	3	( 0) 0	0	( 0) 0	0	3
05-06 環境化学機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-08 度量衡測定機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
06-02 金属加工用機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 1	0	0
06-04 電気電子機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
10-03 社会用器具類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
10-05 生物物理化学用器具類	3	( 0) 0	0	( 0) 0	0	3
10-06 家庭科用器具類	12	( 0) 0	0	( 0) 1	0	11
10-07 音楽用器具類	11	( 0) 0	0	( 0) 0	0	11
10-08 芸術用器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
10-10 地学天文学用器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	8	( 0) 0	0	( 0) 0	0	8
10-99 その他の教育用器具類	3	( 0) 0	0	( 0) 0	0	3
計	919	( 0) 0	0	( 0) 2	0	917

(全日制職員の部)

(令和7年9月30日現在)

整理番号	職名		事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	山崎 裕子		〇〇〇	△年 △月	□□□
2	副校長	林 研 光		〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□□□ □□□□□
3	教 頭	白鳥 貴久		〇〇〇	△年 △月	□□□
4	事務長	池谷 得維	事務総括	〇〇〇	△年 △月	□□□□□□□□ □□□□□□□
5	教 諭	鈴木 高浩	地歴公民	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□
6	〃	生熊 弘子	国 語	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□
7	〃	鈴木 洋子	英 語	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□
8	〃	飯尾 照彦	数 学	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□
9	〃	増井 啓太	地歴公民	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□
10	〃	藤井 滋子	数 学	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□
11	〃	藤澤 教子	英 語	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□
12	〃	橋本 邦弘	理 科	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□
13	〃	倉田 尚英	英 語	〇〇〇	△年 △月	□□□
14	〃	岩本 直子	理 科	〇〇〇	△年 △月	□□□
15	〃	芥川 昌也	理 科	〇〇〇	△年 △月	□□□
16	〃	中村 勝芳	英 語	〇〇〇	△年 △月	□□□
17	〃	菅沼 昭孝	数 学	〇〇〇	△年 △月	□□□
18	〃	野澤 明彦	国 語	〇〇〇	△年 △月	□□□
19	〃	四條 智也	国 語	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□□
20	〃	倉田 育悦	英 語	〇〇〇	△年 △月	□□□
21	〃	竹原 和明	数 学	〇〇〇	△年 △月	□□□
22	〃	澤田 あゆみ	保健体育	〇〇〇	△年 △月	□□□
23	〃	高林 良洋	保健体育	〇〇〇	△年 △月	□□□
24	〃	村松 栄一	数 学	〇〇〇	△年 △月	□□□
25	〃	堀尾 勝美	地歴公民	〇〇〇	△年 △月	□□□
26	〃	石山 睦巳	保健体育	〇〇〇	△年 △月	□□□
27	〃	堀内 直子	英 語	〇〇〇	△年 △月	□□□
28	〃	石原 一郎	国 語	〇〇〇	△年 △月	□□□
29	〃	熊木 千裕	理 科	〇〇〇	△年 △月	□□□
30	〃	内山 隆宏	書 道	〇〇〇	△年 △月	□□□
31	教 諭	黒澤 有紀	国 語	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□□
32	〃	重信 純子	英 語	〇〇〇	△年 △月	□□□
33	〃	山本 陽子	家 庭	〇〇〇	△年 △月	□□□
34	〃	村木 美奈子	英 語	〇〇〇	△年 △月	□□□ □□□□
35	〃	福岡 章雄	保健体育	〇〇〇	△年 △月	□□□
36	〃	渡 邊 円	音 楽	〇〇〇	△年 △月	□□□
37	〃	吉永 貴宏	地歴公民	〇〇〇	△年 △月	□□□

38	〃	仲田博宣	数学	〇〇〇	△年△月	□□□ □□□□
39	〃	野田和孝	保健体育	〇〇〇	△年△月	□□□
40	〃	田中牧絵	国語	〇〇〇	△年△月	□□□
41	〃	江間喬	地歴公民	〇〇〇	△年△月	□□□
42	〃	才田由記	英語	〇〇〇	△年△月	□□□
43	〃	中道誠	数学	〇〇〇	△年△月	□□□
44	〃	古浦奈巳	数学	〇〇〇	△年△月	□□□
45	〃	沖田栄里	情報	〇〇〇	△年△月	□□□
46	〃	伊藤友里恵	英語	〇〇〇	△年△月	□□□
47	〃	笹本裕大	地歴公民	〇〇〇	△年△月	□□□
48	〃	瀧口慶	地歴公民	〇〇〇	△年△月	□□□
49	〃	宮下慎之介	理科	〇〇〇	△年△月	□□□
50	〃	鈴木美加	家庭	〇〇〇	△年△月	□□□
51	〃	村松太介	保健体育	〇〇〇	△年△月	□□□
52	〃	戸村むつみ	国語	〇〇〇	△年△月	□□□
53	〃	藤崎美沙	英語	〇〇〇	△年△月	□□□ □□□□
54	〃	藤田光介	地歴公民	〇〇〇	△年△月	□□□
55	〃	増本絵里奈	国語	〇〇〇	△年△月	□□□ □□□□
56	〃	惟村明孝	理科	〇〇〇	△年△月	□□□
57	〃	日下純一	理科	〇〇〇	△年△月	□□□
58	〃	村松駿太	保健体育	〇〇〇	△年△月	□□□
59	〃	上谷拓之	国語	〇〇〇	△年△月	□□□
60	〃	松下温	数学	〇〇〇	△年△月	□□□
61	〃	上野綾弓	英語	〇〇〇	△年△月	□□□
62	〃	佐野彩人	数学	〇〇〇	△年△月	□□□
63	養護教諭	増田紀子	養護	〇〇〇	△年△月	□□□
64	実習助手	安保友香	理科	〇〇〇	△年△月	□□□
65	主査	竹内真理	人事・給与	〇〇〇	△年△月	□□□□□□□□□□ □□□□□□
66	〃	大谷友宏		〇〇〇	△年△月	□□□□□ □□□□□
67	〃	原田裕子	会計	〇〇〇	△年△月	□□□□□□□
68	主任	佐々木友里江		〇〇〇	△年△月	□□□□□ □□□□□
69	主事	松林花奈		〇〇〇	△年△月	□□□□□ □□□□□
70	技能長	村松貞佳	環境整備	〇〇〇	△年△月	

## (定時制職員の部)

整理番号	職名		事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教 頭	岡 田 浩 人		〇〇〇	△年 △月	□□□
2	教 諭	中 村 守 孝	地歴公民	〇〇〇	△年 △月	□□□
3	”	材 木 正 義	商 業	〇〇〇	△年 △月	□□□
4	”	濱 口 莉 央	保健体育	〇〇〇	△年 △月	□□□
5	”	萩 一 樹	理 科	〇〇〇	△年 △月	□□□
6	”	山 本 悠 雅	数 学	〇〇〇	△年 △月	□□□
7	”	羽 田 由 季	国 語	〇〇〇	△年 △月	□□□
8	”	矢 田 悠 悟	英 語	〇〇〇	△年 △月	□□□
9	養護教諭	松 井 充 代	養 護	〇〇〇	△年 △月	□□□
10	主 事	清 水 かつお	管財・会計	〇〇〇	△年 △月	

## 職 員 の 年 齢 調

(全日制)

(令和 7 年 9 月 30 日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	17	
40歳以上50歳未満	12	
50歳以上56歳未満	12	
56歳以上61歳未満	16	
61歳以上	10	暫定再任用職員 7人 定年前再任用短時間勤務職員 2人
計	70	平均年齢 48 . 5 歳

(定時制)

(令和 7 年 9 月 30 日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	2	
30歳以上40歳未満	4	
40歳以上50歳未満	2	
50歳以上56歳未満	1	
56歳以上61歳未満	1	
61歳以上	0	
計	10	平均年齢 38 . 8 歳

## 健 康 管 理

### 1 6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受 診 者 数 82人 職 員 数 81人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1)未受診の理由

産育休のため

### 2 7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0 人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0 人
B2		要経過観察	0 人
C1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0 人
C2		要経過観察	0 人
D1	平常の勤務でよい。	要 治 療	29 ( 5 ) 人
D2		要経過観察	6 ( 1 ) 人
D3		医 療 不 要	42 ( 1 ) 人
区 分 者 計			77 ( 7 ) 人
未 区 分 者 数			3 人
合 計			80 ( 7 ) 人

(1)管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2)未区分の理由

ア 産休・育休 1 人

イ 新規採用 0 人

ウ 自己都合による未受診 0 人

エ その他 ( 休職中 ) 2 人